

大和インベスター・リレーションズ

個人投資家向け会社説明会

～札幌開催～ 会社説明資料

2025年3月8日

証券コード：3107



ダイワハウスホールディングス株式会社

1. 会社概要
2. 通期業績見通し
3. 業績推移
4. 当社事業の強みと戦略
5. 中長期ビジョン『2030VISION』
6. 株主還元

ダイワボウホールディングス 会社概要

本社所在地 〒530-0005 大阪市北区中之島3丁目2番4号
中之島フェスティバルタワー・ウエスト28階

設立日 大和紡績として創立 1941年4月1日
ダイワボウホールディングス設立 2009年7月1日

連結従業員数 2,867名（2024年3月末現在）

資本金 216億9,674万4,900円

株式 東証プライム市場 証券コード **3107** / 業種：**卸売業** <JPX日経インデックス400構成銘柄>



代表取締役社長
西村 幸浩

事業内容

ITインフラ流通事業

[中核会社]  **DIS** ダイワボウ情報システム株式会社

コンピュータ・周辺機器・ソフトウェアの販売
および物流サービス業
コンピュータ機器等の導入・保守・修理サービス業

産業機械事業

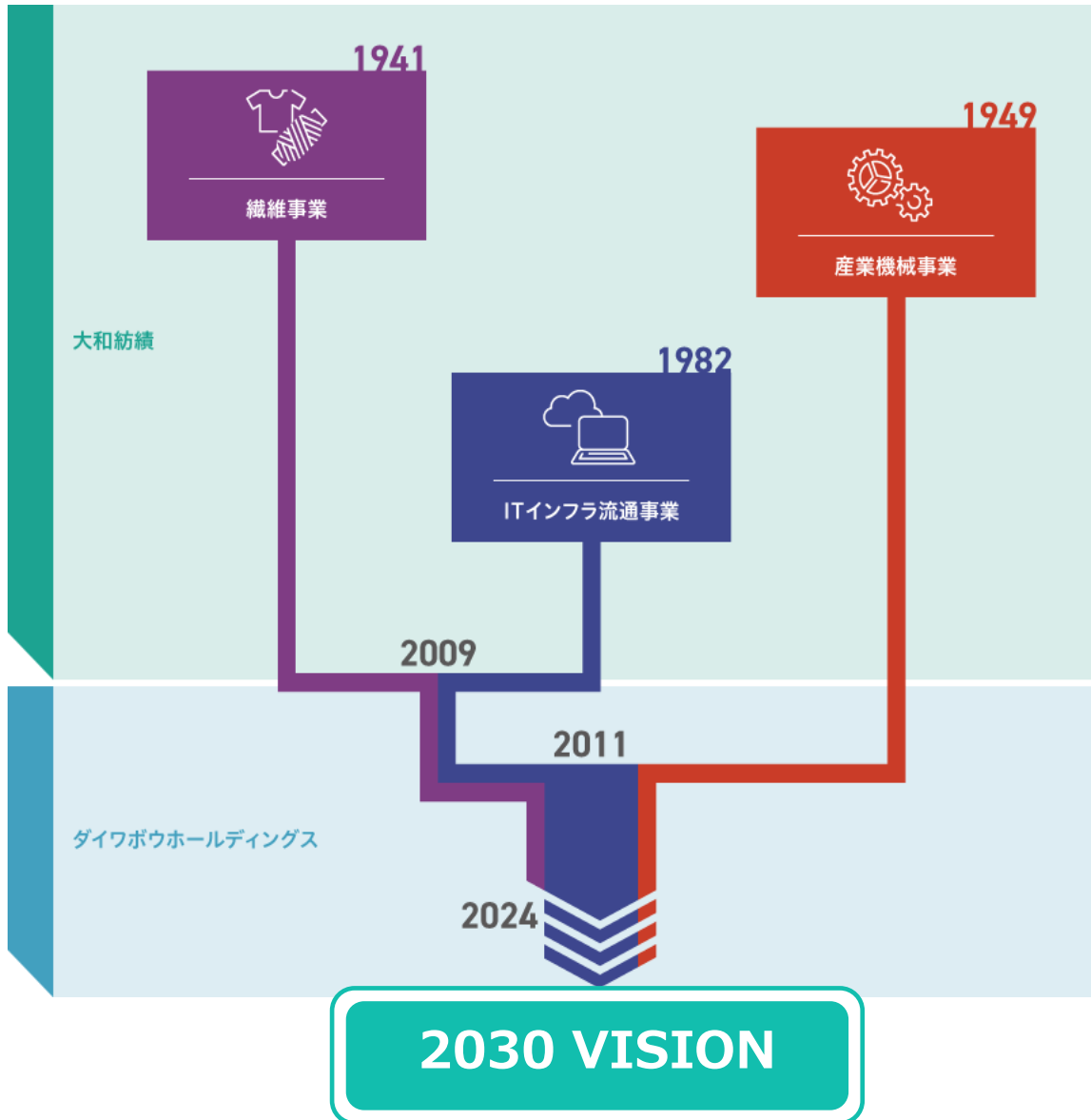
[中核会社]

 **オーエム製作所**

工作機械、自動機械および鋳物製品の製造販売業

※大和紡績株式会社は2024年3月27日に独立いたしました。
(発行済株式の85%を株式会社アスパラントグループへ譲渡)

グループの沿革



- 1941年 **大和紡績** 発足
- 1949年 穴道工場分離 **大和機械工業** 設立
- 1960年 大阪機械製作所と合併 **オーエム製作所** 設立
- 1982年 **ダイワボウ情報システム** 設立
- 2009年 大和紡績とダイワボウ情報システム 経営統合
ダイワボウホールディングス(株) へ商号変更
- 2011年 オーエム製作所と経営統合 3事業体制へ
- 2024年 大和紡績の独立、『2030 VISION』発表

繊維事業の独立について

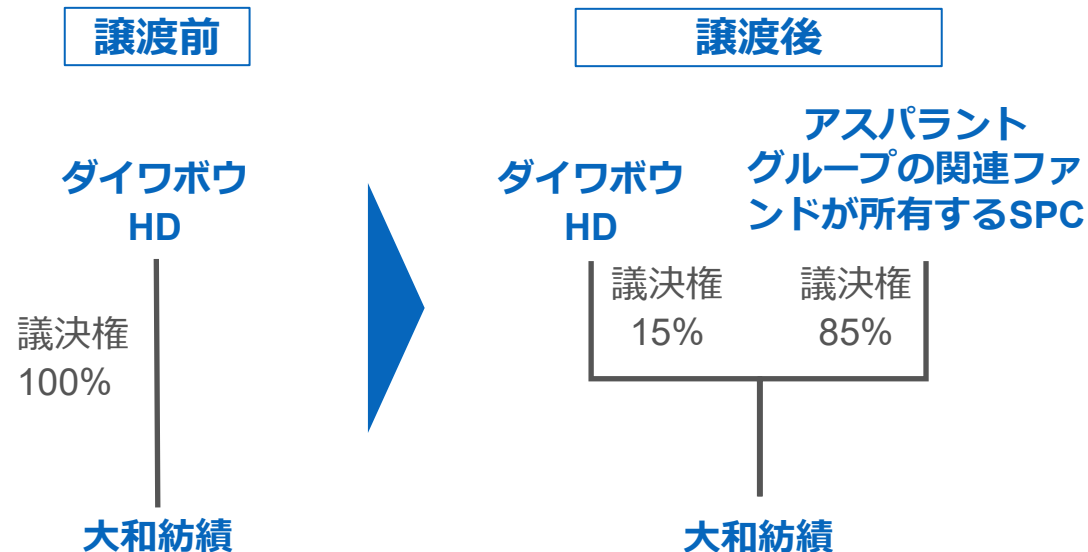
2023年 5月15日 : 事業ポートフォリオ（繊維事業独立化）検討体制について公表
2023年11月22日 : 大和紡績の株式85%についてアスパラントグループへの譲渡を決議
2024年 3月27日 : 株式譲渡が完了

大和紡績株式譲渡の概要

大和紡績の事業概要	<ul style="list-style-type: none">■ 繊維製品の製造・加工・販売■ 事業会社の株式保有による事業活動の支配管理
連結財務概要* (2023年3月)	<ul style="list-style-type: none">■ 売上高 : 627億円 ■ 営業利益 : 13億円■ 総資産 : 631億円 ■ 純資産 : 325億円
譲渡先	■ 株式会社アスパラントグループSPC11号 (アスパラントグループ株式会社が発行済株式の全てを所有するSPC。譲渡時には、アスパラントグループの関連ファンドが100%所有予定)
譲渡価格	<ul style="list-style-type: none">■ 91.8億円 (株式価値108.0億円の85%相当額)■ 譲渡価格は企業価値248億円をベースに運転資本、有利子負債、その他の資産・負債等に加え、アスパラントグループが大和紡績の持続的成長を実現するために拠出する予定である設備投資額を考慮した金額
譲渡完了日	■ 2024年3月27日

* 外部会計監査を経た連結財務諸表を作成していないため、大和紡績にて管理している連結ベースでの財務数値を参考値として記載

譲渡後の資本構成



大和紡績の既存取引先や従業員といったステークホルダーとの一定の関係性を維持しつつ、スムーズな移行を目的とした協力関係維持期間として、**当面の間は大和紡績の議決権15%の所有を継続予定**



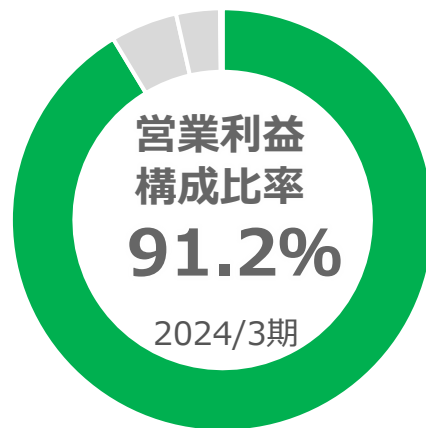
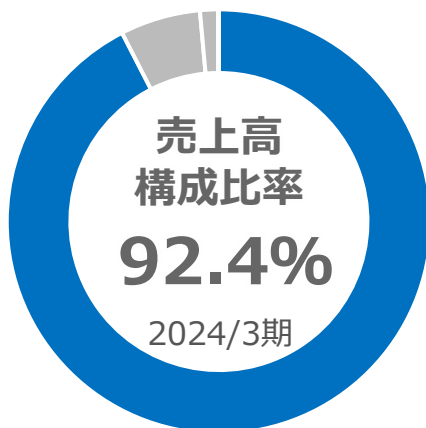
ダイワボウホールディングス株式会社

ダイワボウグループの持株会社として、グループ全体の成長戦略の立案とそれを推進するための経営資源の配分を担い、将来に向けて持続的に発展できる経営体制を築いています。

ITインフラ流通事業

【中核事業会社】

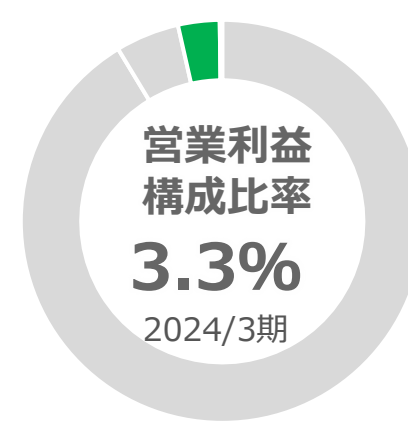
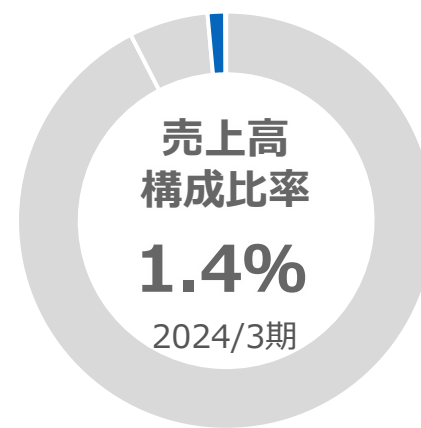
DIS ダイワボウ情報システム株式会社



産業機械事業

【中核事業会社】

 **オーエム製作所**



| 2025年3月期 通期業績見通し

2025年3月期 通期業績予想

(百万円)	2024/3 (実績)		2025/3		増減額 ②-①	増減額 ②-前期	前期比
	率	①前回予想 (24/11/6開示)	率	②修正予想 (25/2/7開示)			
売上高	967,760	1,123,500	1,142,500		+19,000	+174,739	+18.1%
ITインフラ流通	894,693	1,111,100	1,130,000		+18,900	+235,306	+26.3%
産業機械	13,213	12,400	12,500		+100	△713	△5.4%
繊維	59,210	—	—		—	△59,210	—
営業利益	30,963 3.2%	33,000 2.9%	34,500 3.0%		+1,500	+3,536	+11.4%
ITインフラ流通	28,244 3.2%	32,320 2.9%	33,700 3.0%		+1,380	+5,455	+19.3%
産業機械	1,032 7.8%	680 5.5%	800 6.4%		+120	△232	△22.5%
繊維	1,580 2.7%	—	—		—	△1,580	—
経常利益	31,431 3.2%	33,400 3.0%	34,900 3.1%		+1,500	+3,468	+11.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,283 0.4%	23,000 2.0%	23,900 2.1%		+900	+19,616	+458.0%

| 2025年3月期 第3四半期決算と業績推移

2025年3月期 第3四半期 (2024年4月1日～2024年12月31日)

PC更新需要を中心としたIT需要を確実に捉え
第3四半期累計の売上高は過去最高を更新

業績

ITインフラ流通事業

- Windows更新需要は大企業向け大規模案件の多数獲得により売上牽引
- iKAZUCHI (雷) の取扱高は前期比+40.1%と順調に拡大
- 企業・官公庁・文教市場いずれも好調に推移し増収増益

産業機械事業

- 工作機械部門において、コスト増加により利益面で苦戦するも、短納期需要の取り込みが奏功し増収

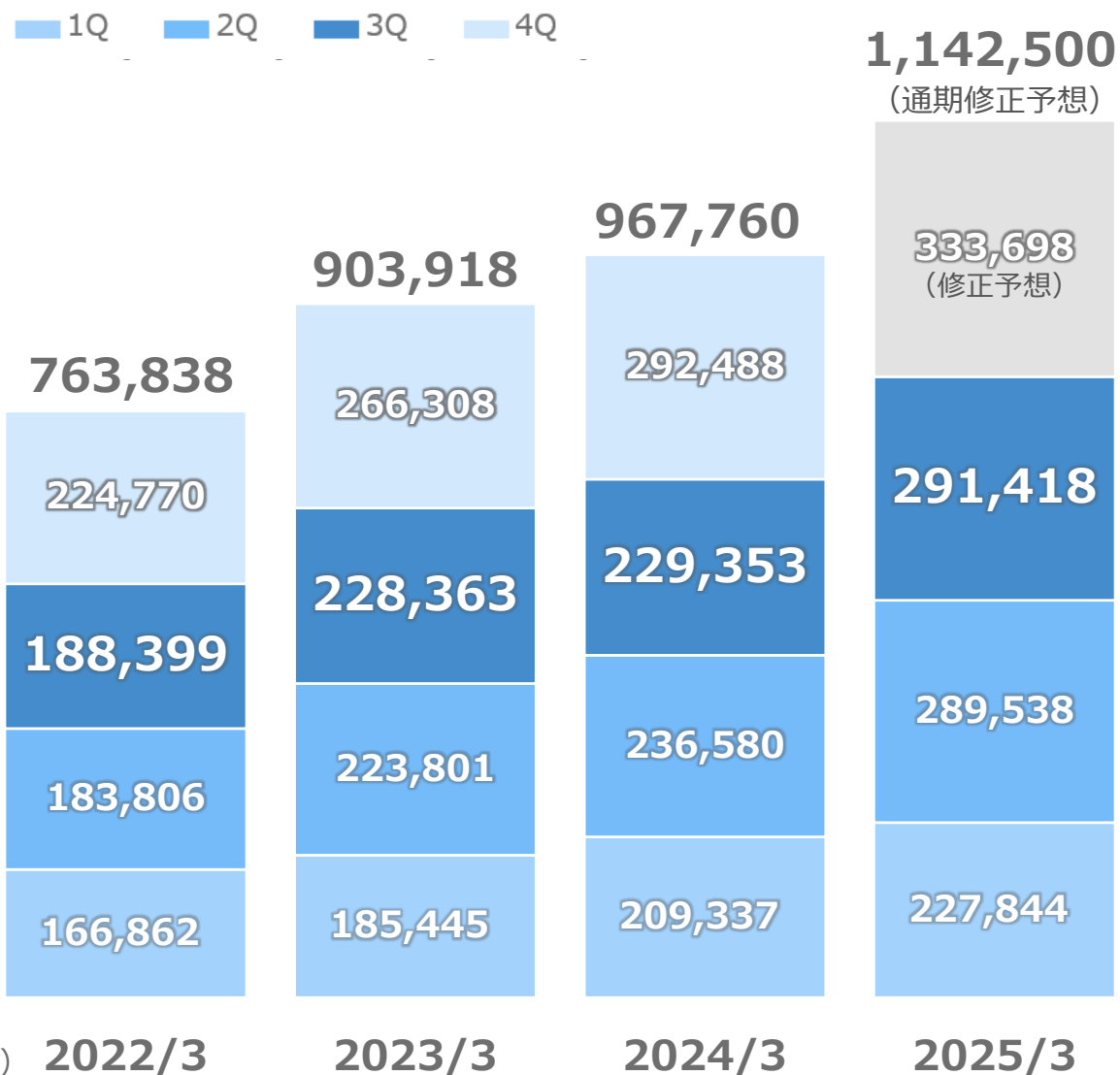
見通し

- 2025年3月期 通期売上高・営業利益の見通しを上方修正

株主還元

- 2024年5月より実施していた約100億円の自己株式取得が12月に終了

2025年3月期 3Q累計 売上高 (4月~12月)



売上高 **808,801**百万円

前年同期比 + **19.8%**

進捗率 **70.8%**

3Q累計として過去最高の業績

(百万円) 2022/3

2023/3

2024/3

2025/3

2025年3月期 3Q累計 連結決算概況

(百万円)	2024/3 3Q	2025/3 3Q	増減	前期比	修正予想 (2/7開示)	進捗率
売上高	675,271	808,801	+133,529	+19.8%	1,142,500	70.8%
営業利益	18,913	22,012	+3,098	+16.4%	34,500	63.8%
経常利益	19,147	22,430	+3,283	+17.1%	34,900	64.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	※△4,198	15,377	+19,575	—	23,900	64.3%
1株当たり 四半期純利益 (円)	△44.92	167.74				

※大和紡績の株式譲渡決定に伴う減損損失(16,695)を反映しております。

(百万円)	2024/3	2024/12	増減	主な増減理由
総資産	405,256	423,998	+18,741	DIS在庫の増加
純資産	142,133	141,420	△713	自己株式の取得
自己資本比率	35.0%	33.3%		

2025年3月期 3Q累計 セグメント別業績

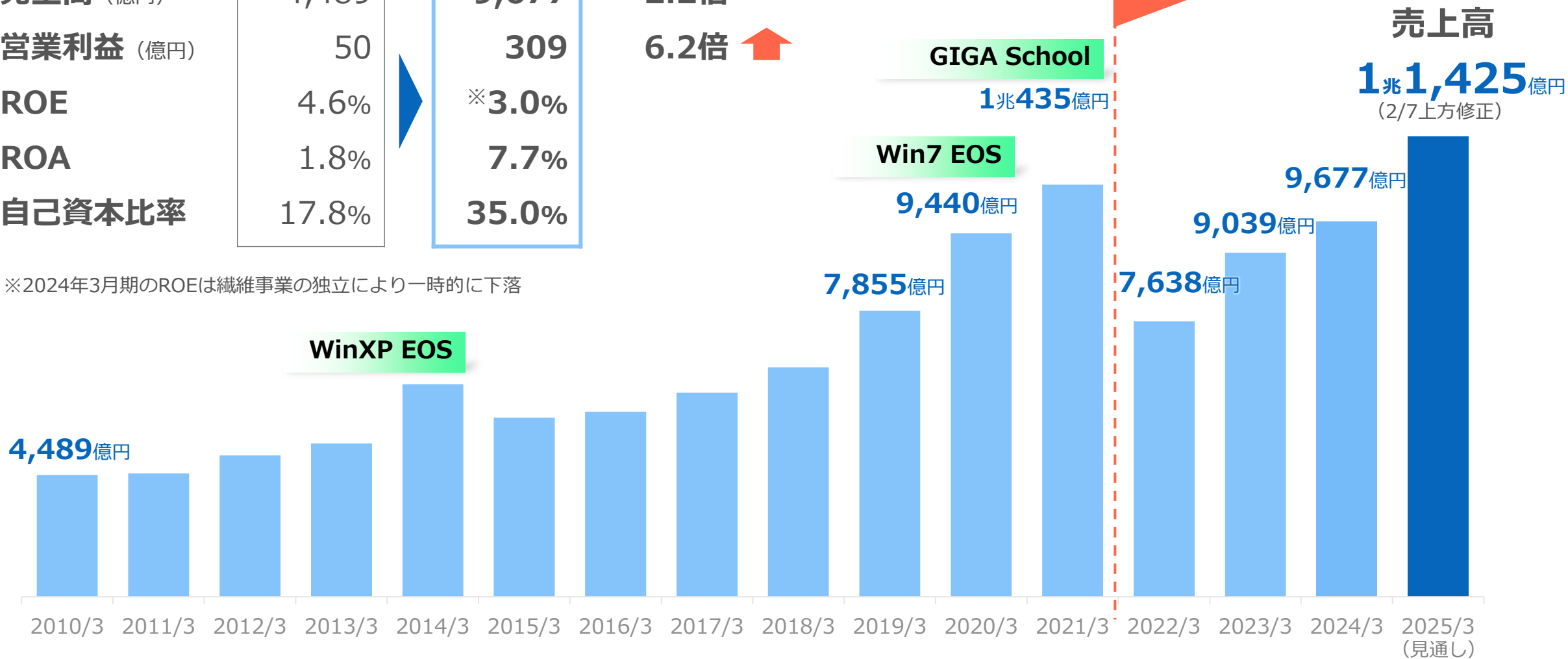
(百万円)		2024/3 3Q	2025/3 3Q	増減	前期比
売上高	ITインフラ流通	622,276	799,680	+177,404	+28.5%
	産業機械	8,699	9,121	+421	+4.8%
	繊維	43,845	—	△43,845	—
	その他	450	—	△450	—
	合計	675,271	808,801	+133,529	+19.8%
営業利益	ITインフラ流通	17,459	21,477	+4,018	+23.0%
	産業機械	584	532	△51	△8.8%
	繊維	797	—	△797	—
	その他	32	—	△32	—
	(調整額)	40	2	△38	△94.8%
	合計	18,913	22,012	+3,098	+16.4%

業績推移 (売上高)

	2010/3	2024/3	
売上高 (億円)	4,489	9,677	2.2倍 ↑
営業利益 (億円)	50	309	6.2倍 ↑
ROE	4.6%	※3.0%	
ROA	1.8%	7.7%	
自己資本比率	17.8%	35.0%	

収益認識に関する会計基準の適用による影響額▲648億円

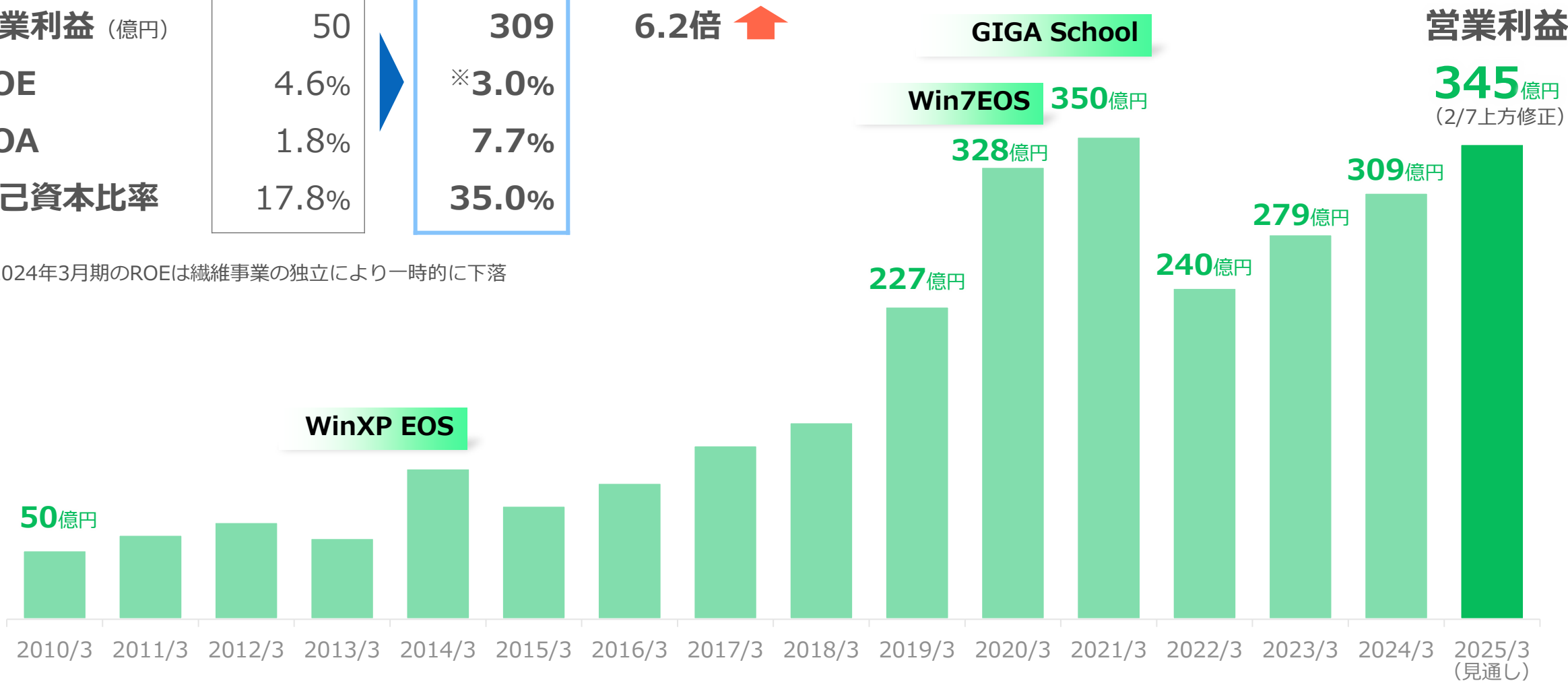
※2024年3月期のROEは繊維事業の独立により一時的に下落



業績推移 (営業利益)

	2010/3	2024/3	
売上高 (億円)	4,489	9,677	2.2倍 ↑
営業利益 (億円)	50	309	6.2倍 ↑
ROE	4.6%	※3.0%	
ROA	1.8%	7.7%	
自己資本比率	17.8%	35.0%	

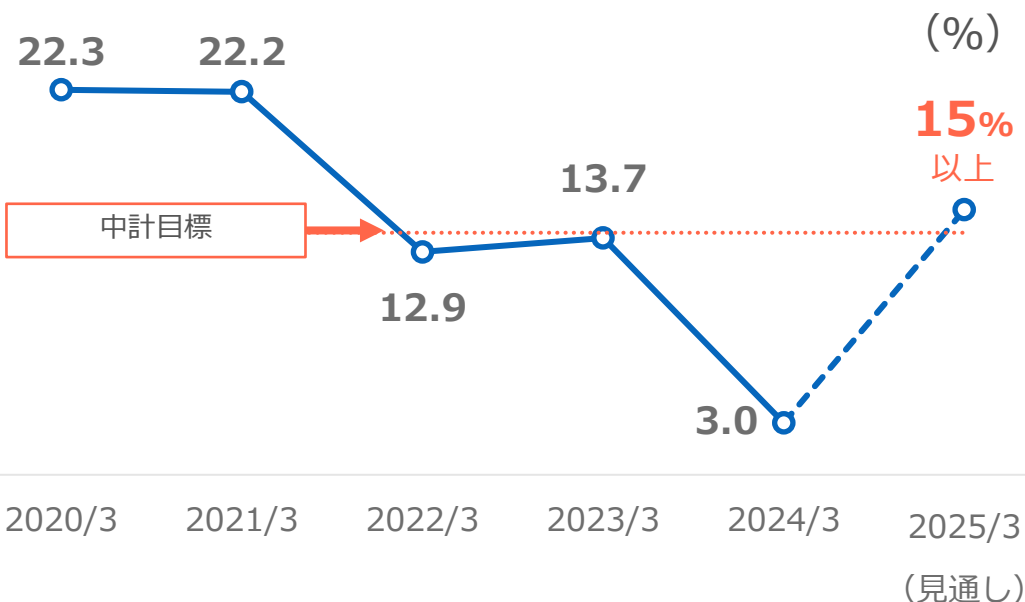
※2024年3月期のROEは繊維事業の独立により一時的に下落



中期経営計画の進捗状況 <グループ経営指標>

ROE 14%以上

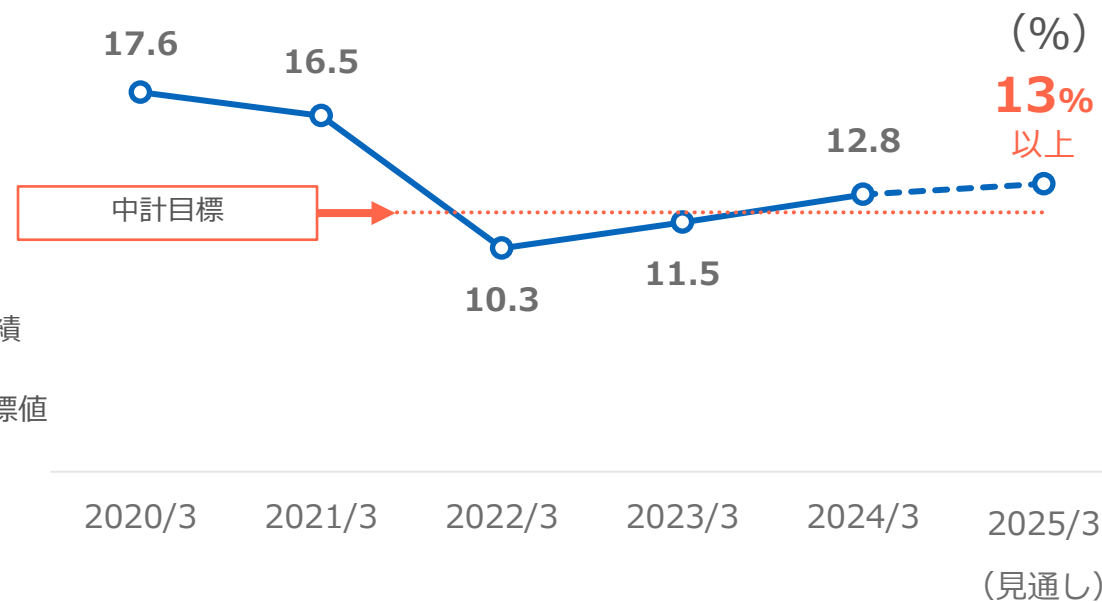
自己資本当期純利益率
<株主資本に対するリターン>



24年3月期は一過性の特別損失計上のため低下も
今期は本来の収益力に回復の見通し

ROIC 12%以上

投下資本利益率
※税引後営業利益 / (純資産 + 有利子負債)
<投下資本に対するリターン>



自社認識の資本コストを上回るとともに
中計目標水準をクリアする見通し

| 当社事業の強みと戦略

総合商社

専門商社

食品

繊維

鉄鋼

化学

ITインフラ流通

機械

医薬品

燃料・エネルギー

電子・半導体

日用品・化粧品



ダイワボウ情報システム株式会社

国内最大級の
IT専門商社

社員数 : 2,381名
拠点数 : 96拠点(国内)
取扱いメーカー数 : 1,400社
取扱いアイテム数 : 260万
販売パートナー数 : 19,000社

※2024年3月末時点



【本社所在地】
中之島フェスティバル
タワー・ウエスト10F

【参考情報】「会社四季報」業界地図 2024年度版

成長分野でのポジション &バリューアップ

- クラウドプラットフォーム市場でのシェア拡大
- SaaSモデルにおける事業領域の拡大



DX推進による パートナーリレーションシップ

- 企業価値向上に向けたビジネスモデル変革
生産性向上の実現
- 先端技術を含む海外ベンダー拡販による事業領域拡大

業界リーダー企業として コア領域の深化

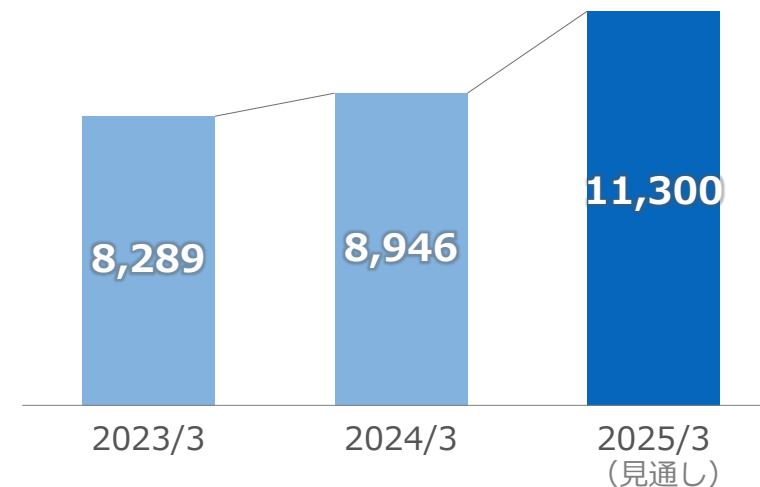
- ITデバイス基盤における事業領域の拡大
- 高付加価値商材
ビジネス領域の成長
- 技術専門部隊による支援体制を整備し提案力強化

企業ブランディング と戦略的投資

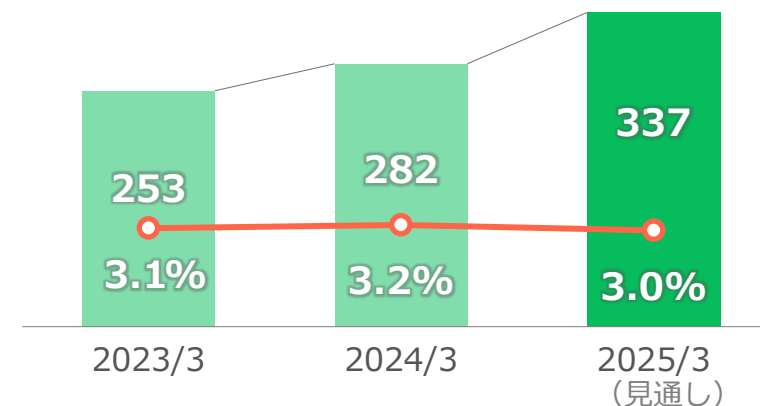
- 社会認知度向上、業界発展への寄与および地域社会への貢献
- 事業強化に向けた投資
(システム、M&A、業務提携)
- 業界最適化に向けた投資
(物流機能、iKAZUCHI (雷))

実績推移と今期予想

(億円)



■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 営業利益率



ITインフラ流通事業の事業構造

メーカー
(仕入先) 

DIS
全国96拠点の営業網

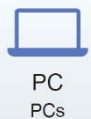
販売
パートナー 

ユーザー
の多様化

世界中のメーカー
の豊富な商品群

約1,400社

約260万アイテム



PC
PCs



SIMフリー端末・
スマートフォン
SIM free terminal,
Smartphones



ペリフェラル
Peripherals



ネットワーク
Network



ソフトウェア
Software



通信・クラウド
Communication,
Cloud

オリジナル販売管理システム

iDATEN(韋駄天)

iKAZUCHI(雷)

サービス&サポート機能

設定・設置・オリジナル保守・コールセンター

全国をカバーする物流拠点

入荷～在庫～配送までメーカー倉庫代行
キitting

プロモーション機能

オリジナルマガジン「PC-Webzine.com」
イベント開催 (DISわあるど/ICT EXPO/オン
ラインセミナーなど)

約19,000社

商社

SIer・NIer

事務機器販売店

量販店・専門店

通信回線業者

EC事業者

法人向

企業

官公庁

教育関連

医療機関

個人向

一般のお客様



世界中のメーカー
約1,400社 / 260万商品



DIS

全国96拠点の営業網

約19,000社
販売パートナー



✓ マーケット情報の入手
→ 適切な生産計画

倉庫～配送など
✓ 物流コストの削減

✓ 顧客情報管理の効率化

需要と供給
両サイドのマーケット
情報提供

全国に物流網整備
倉庫管理～配送まで
メーカー倉庫機能代行

顧客情報の管理・提供

見積もり依頼など
✓ 効率的な営業活動

✓ メーカー・
商品情報の入手

✓ 物流機能の委託

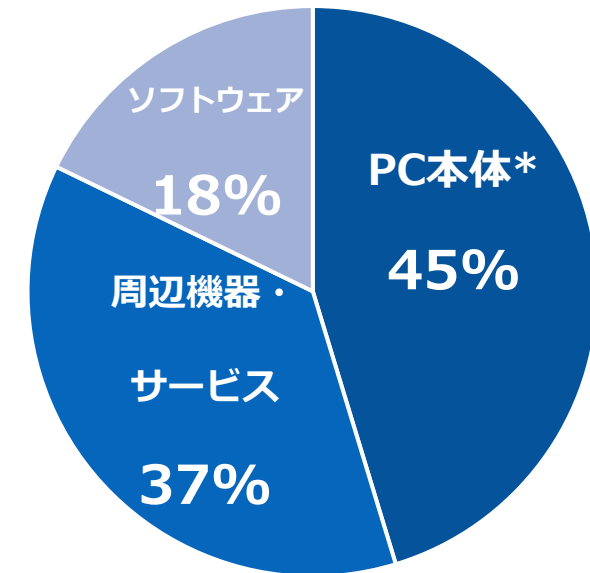
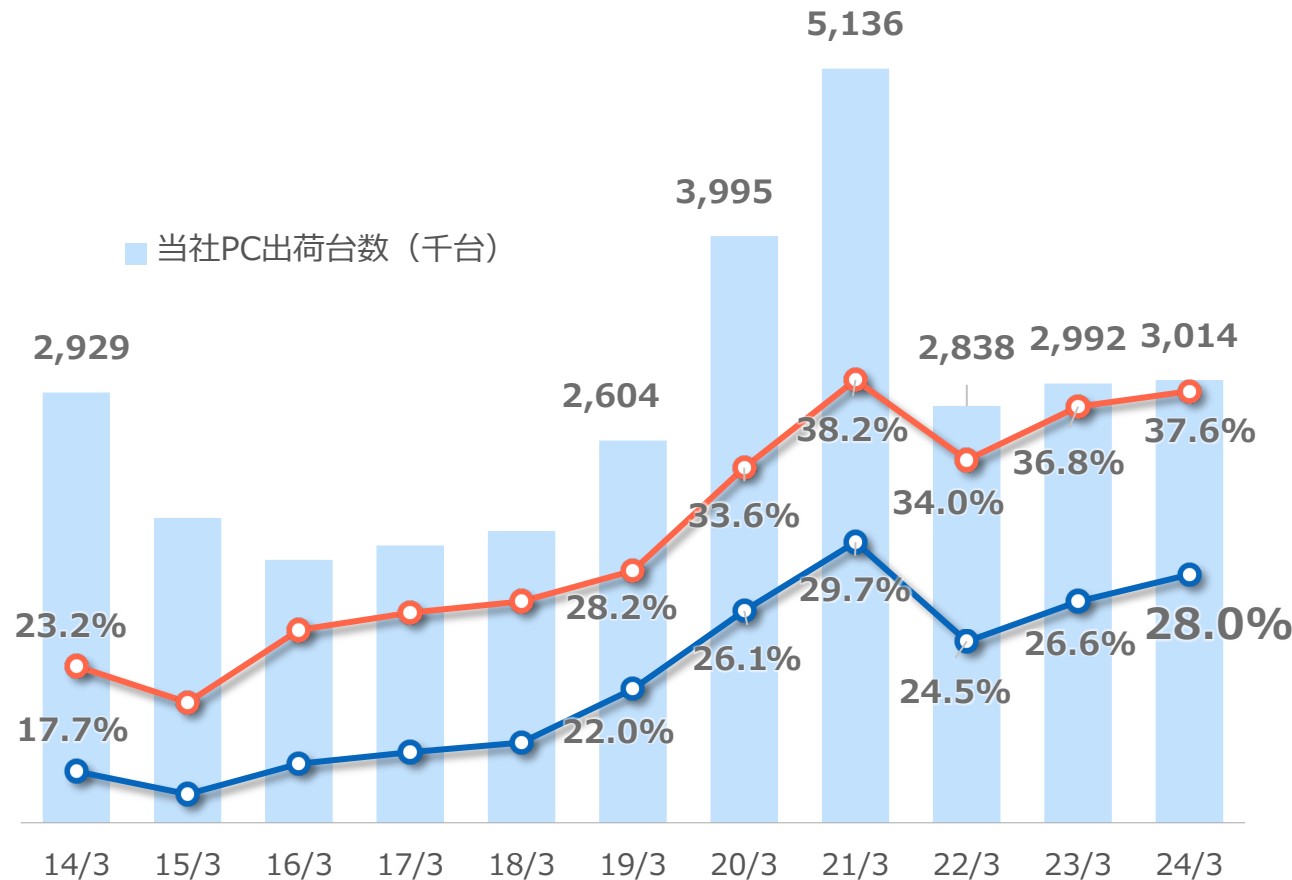
キittingなど
✓ 運用サポート

法人利用のPC **3台に1台以上**は当社が関与

法人向けPCシェア
37.6%

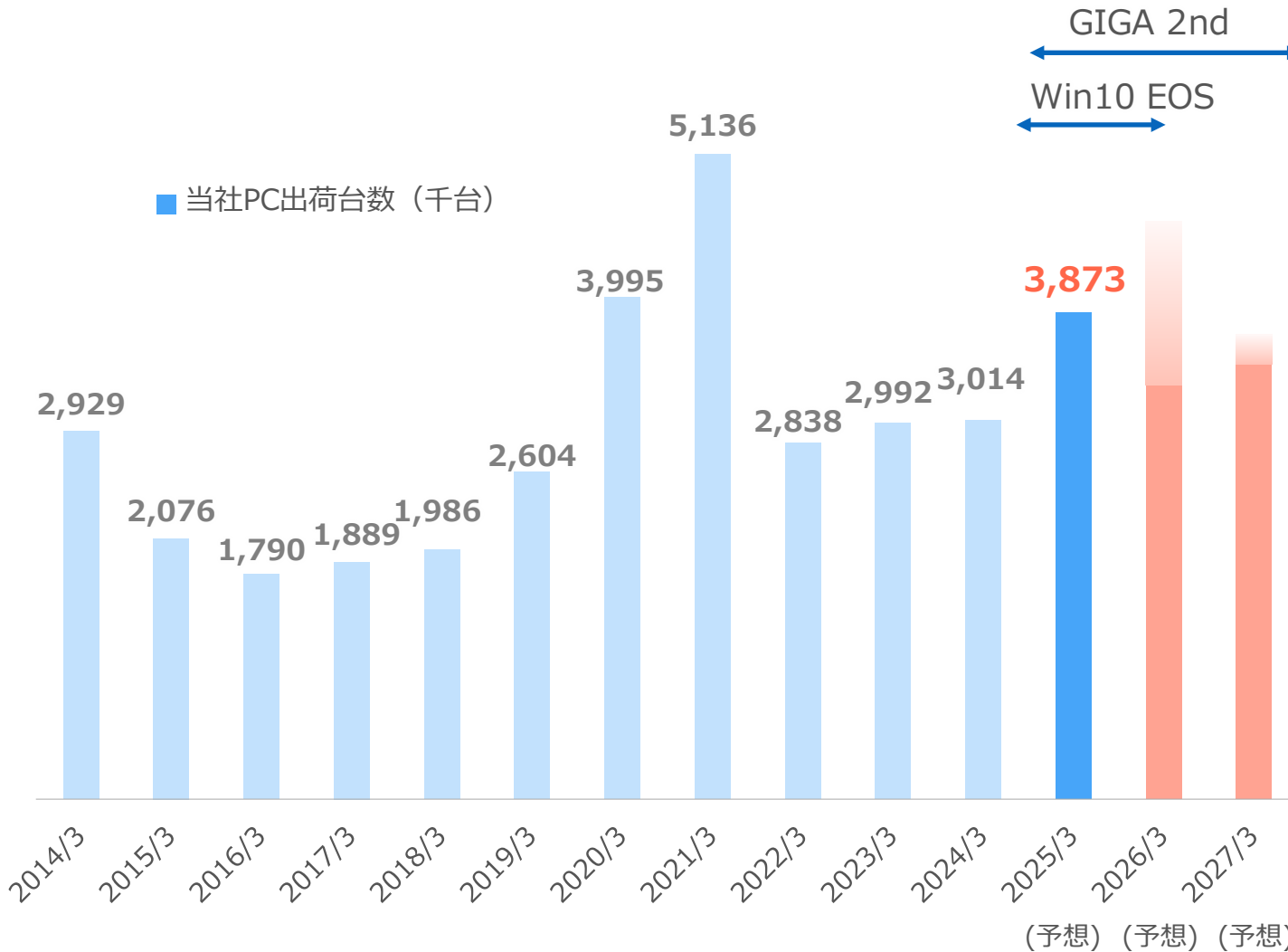
国内全体PCシェア
28.0%

2024年3月期 売上高構成



【参考情報】MM総研調査

*PC本体=PC、サーバー、タブレット、スマートフォン等の端末本体



Windows10のサポート終了

- 2025年10月14日Windows10サポート終了
- **通期387.3万台**を予想 (前年比+28.5%)
- 3Q累計実績269.7万台 (前年比+30.5%)
- 4Q単体は**118万台**を予想 (前年比+24%)

GIGAスクール構想第2期の見通し

- 今年度の更新は先行調達案件 (オプトアウト) 分となり限定的
- 都道府県を中心とした共同調達による公示および入札は4Q以降に実施される予定
- 入札後導入のピークは、2026年3月期を想定

オフィス系、セキュリティ、画像処理、
労務系、財務・給与など、いろいろな
ソフトとサービスプランがありすぎて
管理しきれない！



利用状況が
一目で
わかって
管理が楽に
なった！



■ パートナーのメリット

- 即利用可能
- 複数ベンダー・サービスを、ユーザー単位で管理できる
- サービス毎に異なる契約条件を、一元管理

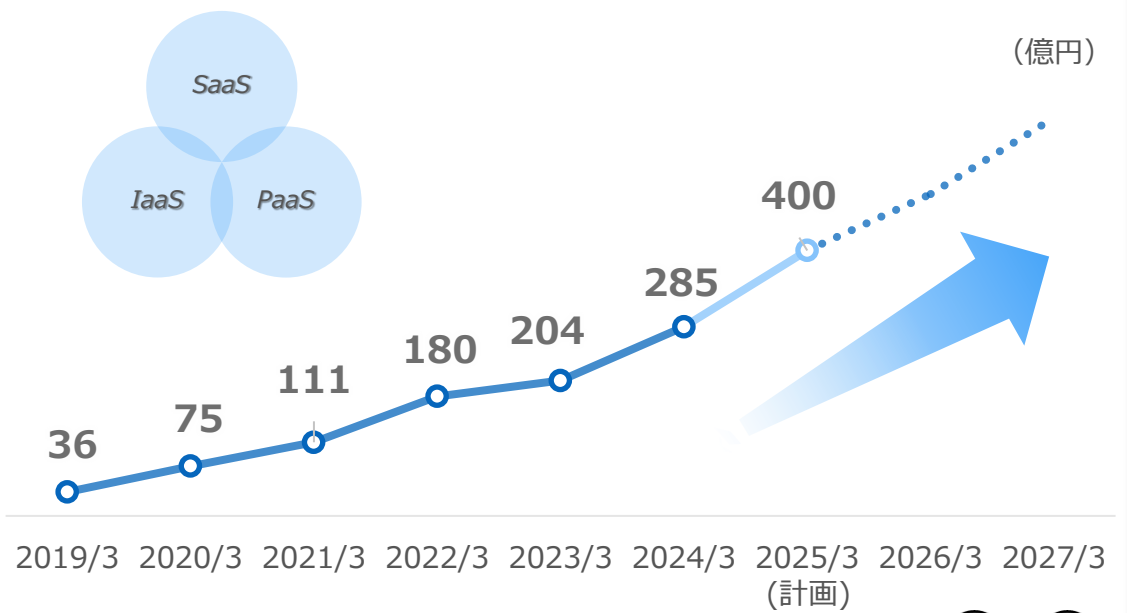
■ ベンダーのメリット

- DiSの営業力を利用可能
- API連携で、サービス発行・請求管理の効率化が可能
- 回収リスク軽減

iKAZUCHI(雷)取扱高

サブスクリプション管理ポータル「iKAZUCHI(雷)」
を通じた販売パートナーへの販売総額

2024/3~2027/3 **CAGR30%以上**の成長を目指す



サブスクリプションビジネスの
市場を拡大し継続収益の「地盤」を強化



物流センター効率化

関西センター（神戸市）



2020年5月稼働

倉庫面積：36,342㎡

関東中央センター（埼玉県吉見町）



2016年6月稼働

倉庫面積：44,753㎡

ロボットストレージシステム

→作業効率・スペース最適化
【ロボット稼働台数】

関東中央：45台、関西：30台

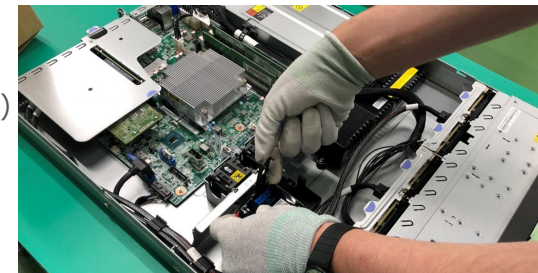
キittingセンター併設

→入荷>作業>出荷に迅速対応

PC・タブレット
キitting実績：年間18.8万台（2024/3期）

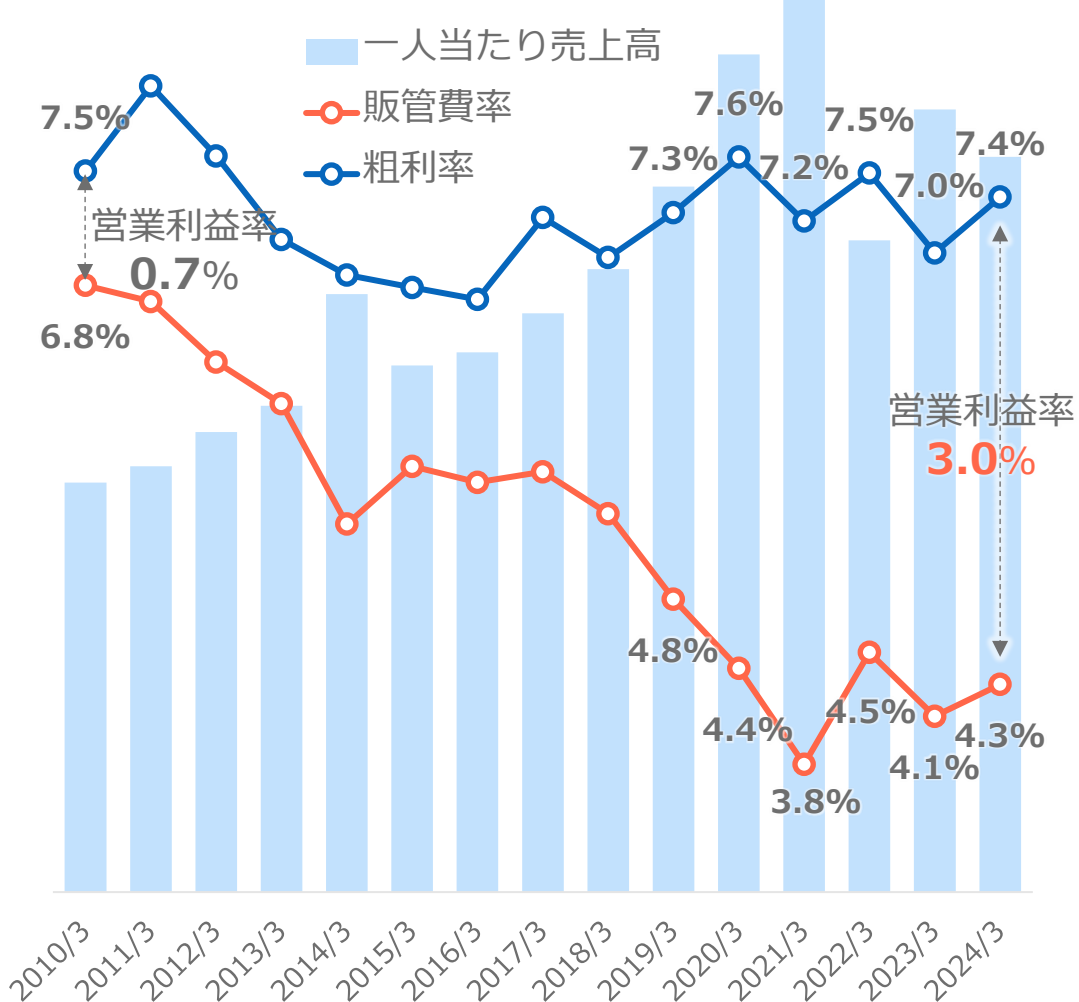
トラック予約受付システム

→入出荷情報の共有・車両平準化



東西メガセンターを中心に
効率化・生産性向上に注力

ITインフラ流通事業 実績



※連結調整を反映しておりませんのでセグメント実績とは異なります

1兆円を支える販売管理システム DIS-NET



- 性能向上のため機器スペック増強、可用性改善
 - 既存システムの移行、非互換プログラムの改修を含むマイグレーション
 - 災害・障害・セキュリティ対策と運用管理改善・可用性向上
-
- 社内システム連携強化、自動化
 - iDATEN（韋駄天）、iKAZUCHI（雷）、EDIなどの機能強化

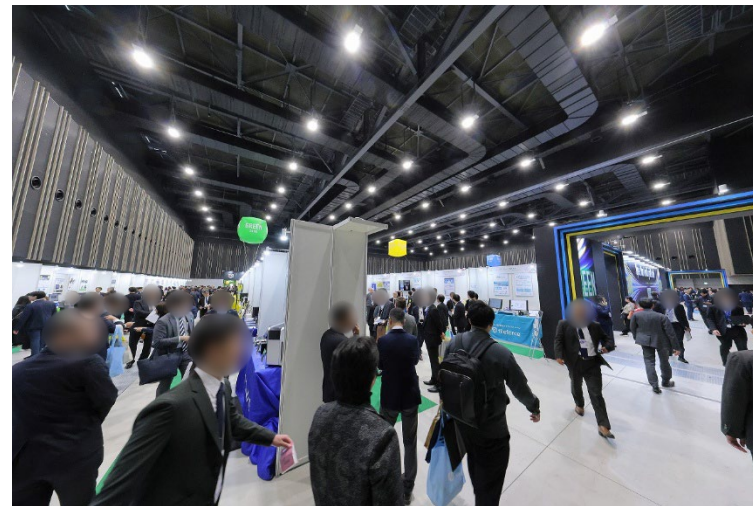
地域密着にこだわったイベント開催



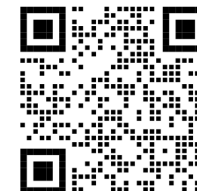
- ・ デジタル×地方創生をテーマに地方都市でICT総合イベントを毎年開催
- ・ 販売パートナーの営業活動支援と地域のIT社会への貢献を提供
- ・ 昨年は出島メッセ長崎にて12月11～12日の2日間実施

【出展社数】 214社 (252ブース)

【来場者数】 4,323名



↓ PIVOT公式チャンネル内の動画リンク ↓
<https://www.youtube.com/watch?v=nvJRJK6p0IU>



動画QR

オーエム製作所

立旋盤、鉄道車輪旋盤の
国内トップメーカー

創設 : 1949年7月
本社 : 大阪市淀川区
拠点数 : 9拠点(海外2拠点含む)
社員数 : 488名(グループ)

※2024年3月末時点



オーエム製作所 長岡工場（新潟）
2024年12月に工場の拡張工事が完了
長岡工場全体での生産能力が20%UP

立旋盤

中・大型立旋盤
国内シェアNo.1



立旋盤のオーエム



車輪旋盤

床下車輪旋盤
国内シェアNo.1



鉄道の安全を影で守り抜く



自動機械



工作機械における潜在市場への事業拡大

- 省人化・無人化機能搭載の機台による生産効率向上の提案
- 長岡工場増築による戦略的かつ計画的な生産の実施
- 短納期での販売促進を展開し新規市場への拡大を図る
- 海外市場のさらなる拡大に向け成長が見込まれる市場への展開を模索



自動機械における包装機自動化需要の取り込み

- 自動供給装置標準化による品質向上とコストダウン
- 中国包装機メーカーとの協業による生産性向上
- 食品・製菓業界に向けて提案営業の強化

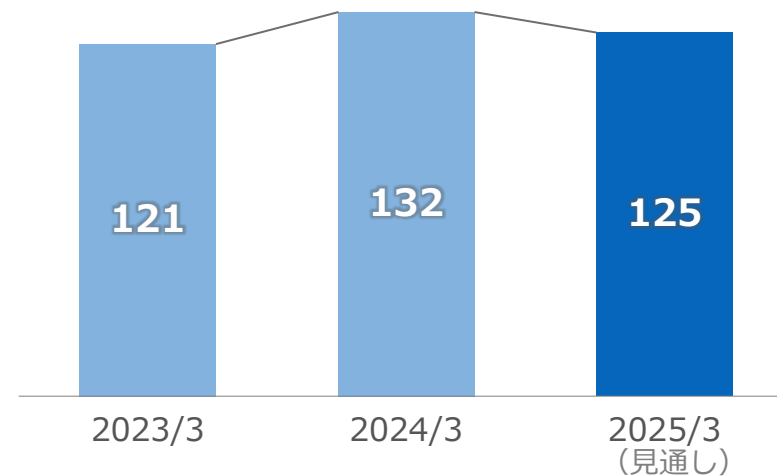
- 拡大が見込めるエネルギー・航空機業界を重点とした提案営業の強化

サービス強化による収益力向上

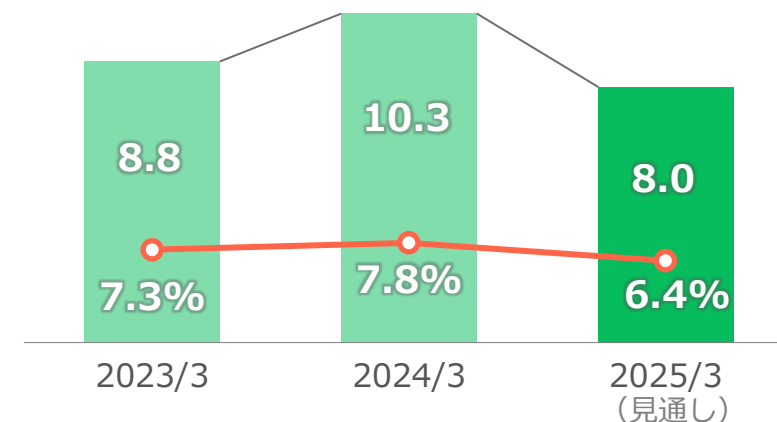
- 顧客満足度向上と安定的な収益拡大を図る
- 導入済み機台のオーバーホール提案を重点的に実施
- 協力企業の開拓や社員のスキルアップによる技術力向上

実績推移と今期予想

(億円)



■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 営業利益率



中長期ビジョン『2030VISION』

エクイティストーリー

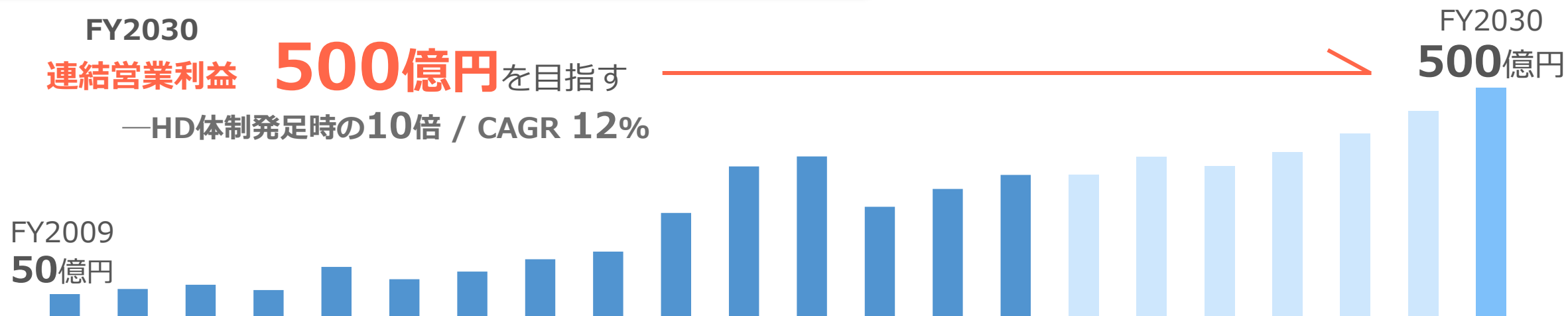
IT分野を軸に
新たな事業領域へ経営資源を投入し
バリューチェーンのさらなる発展に
つながるグループ体制を構築する

「なくてはならない企業グループ」へ

社会に求められる事業モデルを創造する

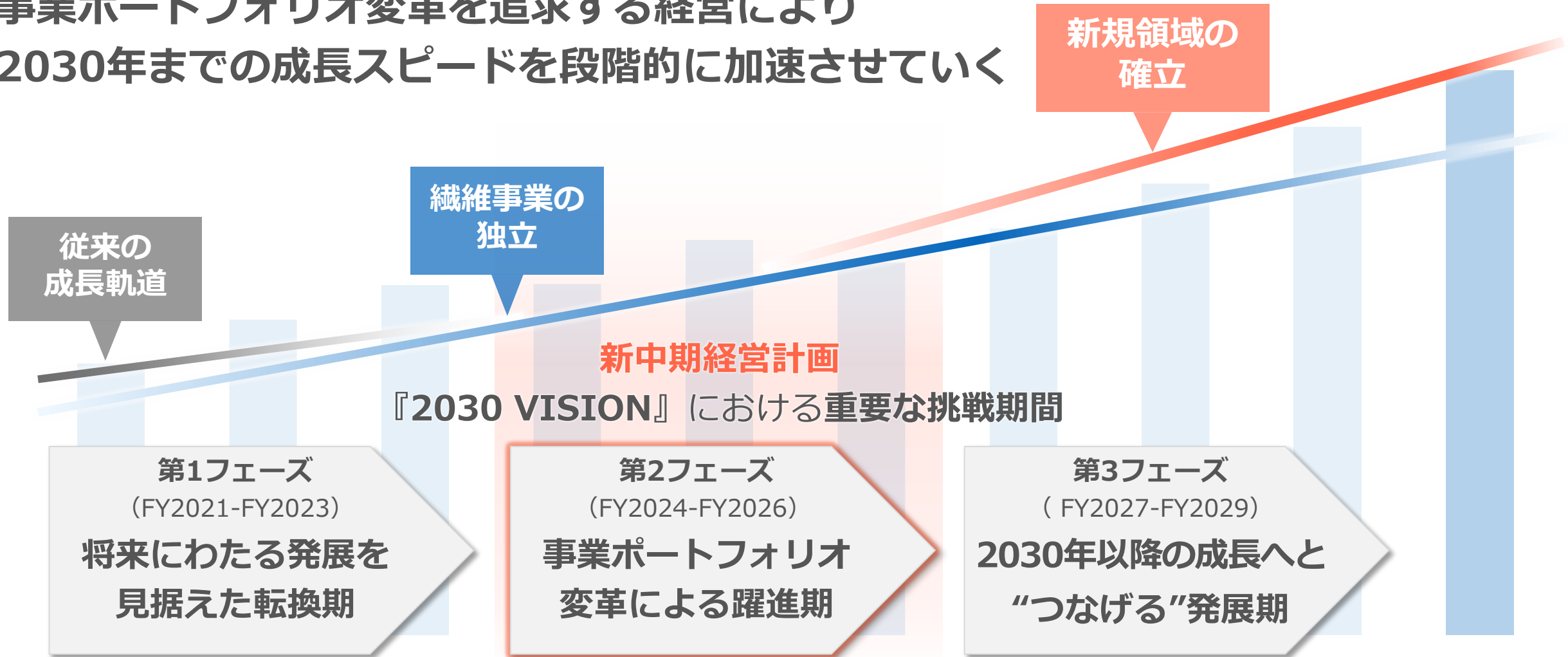
All-in-One Solution Company

ディストリビューションを不動のコアに
IT市場全体を“つなぐ”



『2030 VISION』 実現による成長イメージ

事業ポートフォリオ変革を追求する経営により
2030年までの成長スピードを段階的に加速させていく

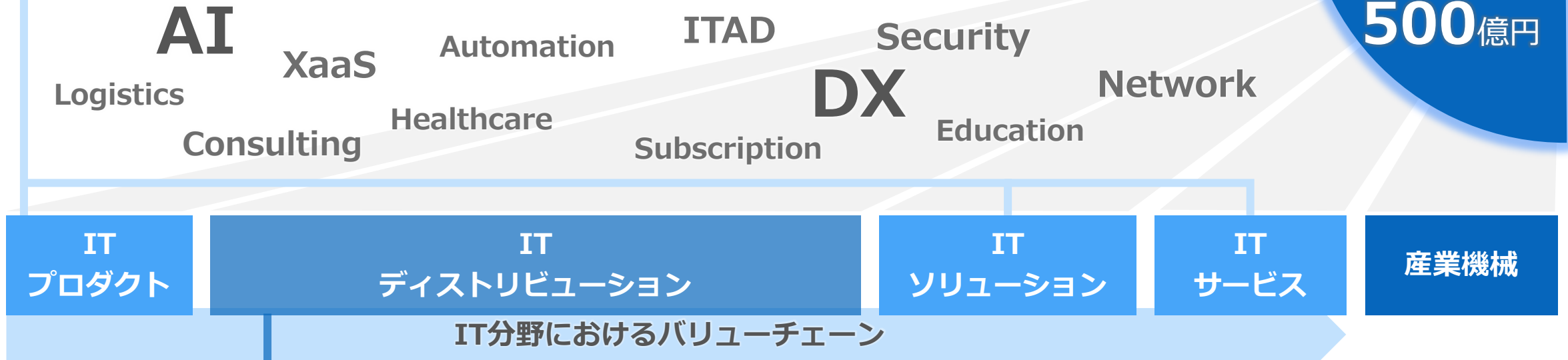


『2030 VISION』で達成したい当社のあるべき姿

新規領域は知見のあるIT市場の周辺分野や
AI・DX関連を含めた先進テクノロジー分野を中心に模索

FY2030目標
連結営業利益

500億円



コア領域のさらなる強化・深化に向けて

3つのS【 Service / Solution / Sustainability 】を中心に機能拡充

迅速な意思決定と投資が可能なホールディングス体制の利点を活かして持続的成長を実現

▶▶▶ あるべき姿の体現に向け社名変更も検討

株主還元

株主還元

1株配当

自己株式取得

配当性向

総還元性向

2025年3月期（予想）

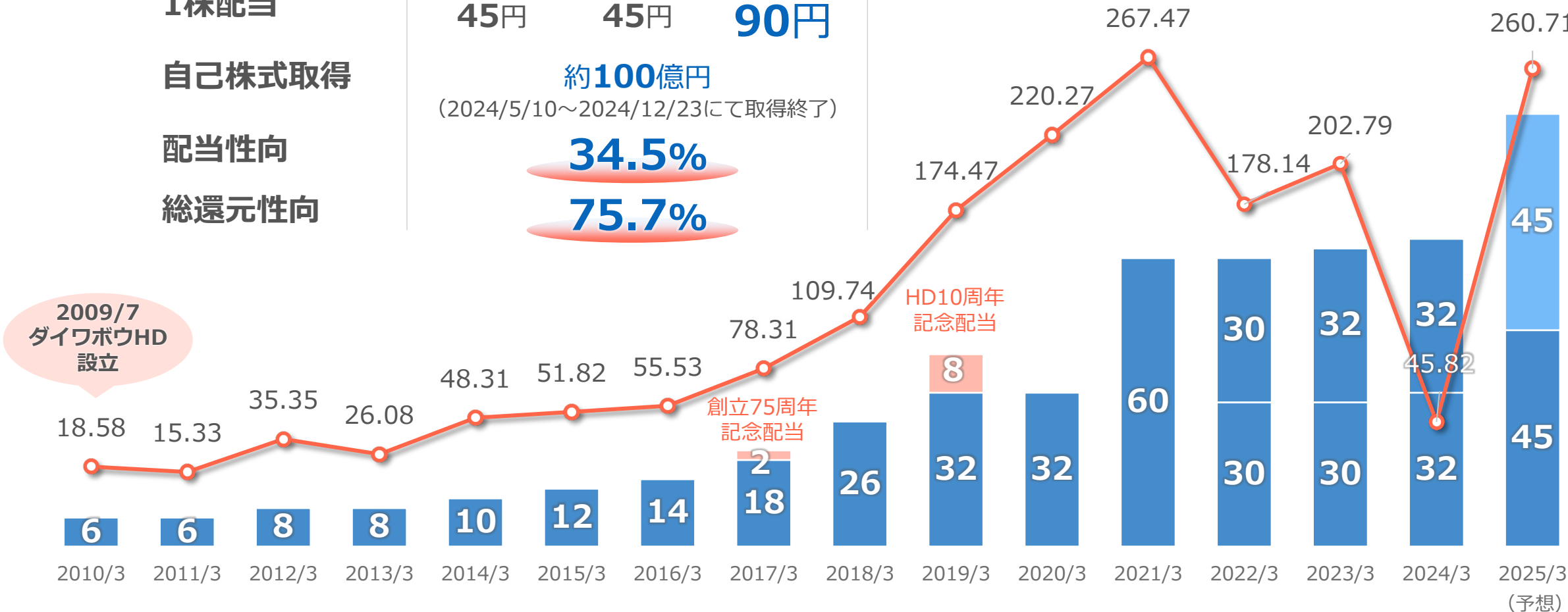
中間	期末	年間
45円	45円	90円

約**100億**円
(2024/5/10~2024/12/23にて取得終了)

34.5%

75.7%

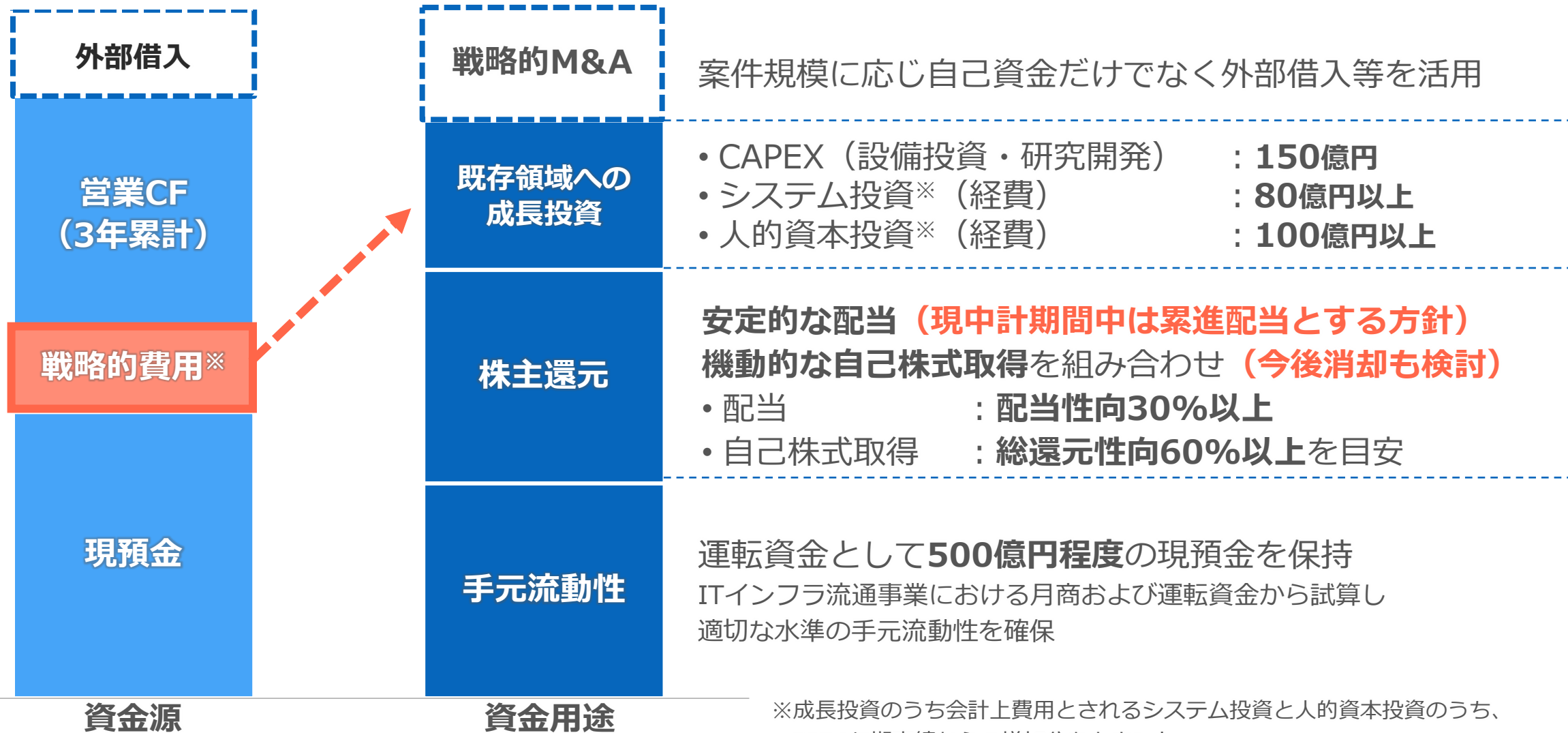
■ 1株当たり配当金（円）
○ 1株当たり利益/EPS（円）



※株式併合（2017/10/1）・株式分割（2021/4/1）を過年度に遡及して表示

キャピタルアロケーション方針（2025/3期～2027/3期）

3カ年累計でのキャピタルアロケーションイメージ



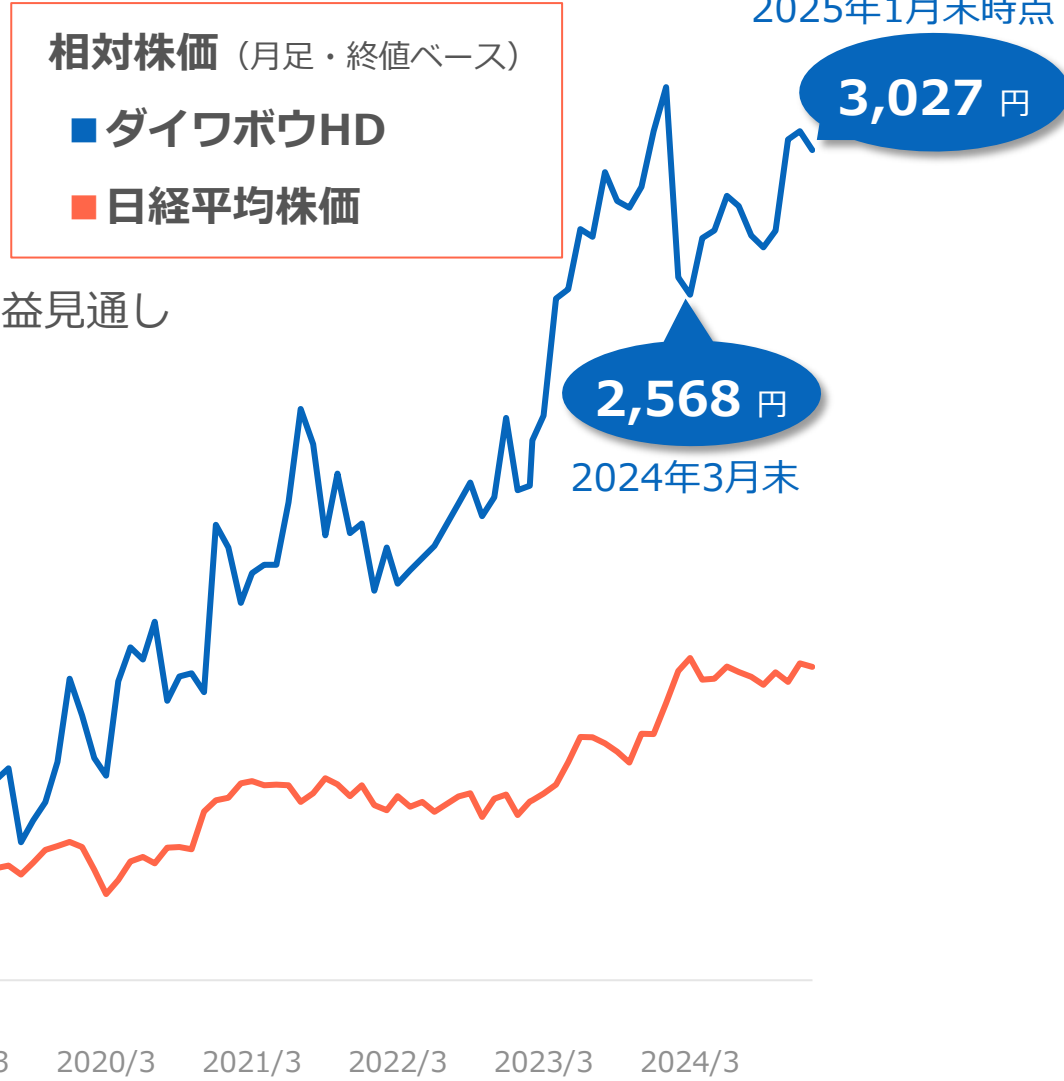
※成長投資のうち会計上費用とされるシステム投資と人的資本投資のうち、2024/3期実績からの増加分をカウント

株価推移

TSR 223.4% ※5年間 (2019/3→2024/3)
株主総利回り

予想PER 11.8倍 ※2024/12終値ベース
株価収益率 2月7日開示 1株当たり当期純利益見通し

予想PBR 2.0倍 ※2024/12終値ベース
株価純資産倍率



2010/3 2011/3 2012/3 2013/3 2014/3 2015/3 2016/3 2017/3 2018/3 2019/3 2020/3 2021/3 2022/3 2023/3 2024/3

※株価は株式併合 (2017/10/1) ・株式分割 (2021/4/1) を過年度に遡及して表示

ダイワボウホールディングスとは？

- 最適な事業ポートフォリオを検討の結果、2024年3月に大和紡績の株式85%を譲渡し**繊維事業が独立**
- IT関連製品の「卸売業」が売上高の90%以上を占める、**ITインフラ流通事業が主軸**
- IT分野を軸に社会に求められる事業モデルを創造する「**なくてはならない企業グループ**」へ

業績見通し・株主還元方針

- 中期経営計画の初年度である今期の売上高は、過去最高の**1兆1,425億円**を予想
- 今期の経営指標は当社目標水準を上回り、**ROE:15%以上、ROIC:13%以上**の見通し
- 現在の中期経営計画期間中は**累進配当**とし、機動的な自己株式取得を組み合わせ**総還元性向60%以上**

当社コーポレートサイトのご紹介

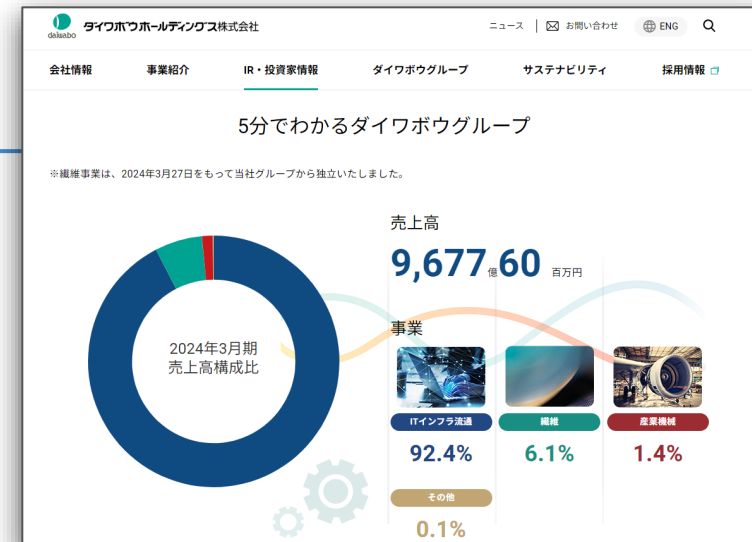


<https://www.daiwabo-holdings.com/>



適時開示情報や事業ニュースをはじめ
事業紹介やIR資料などを発信しています

IR・投資家情報



サステナビリティ

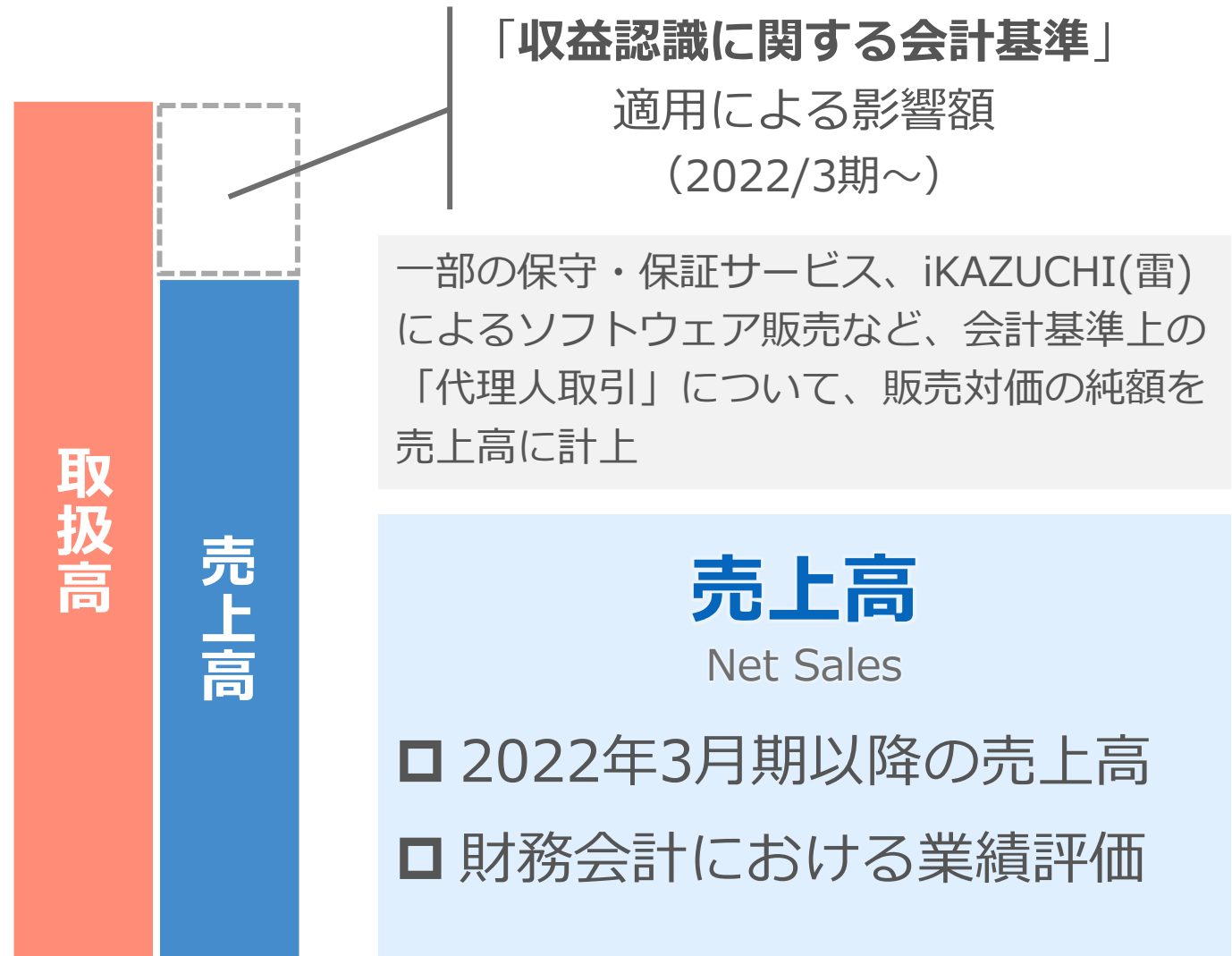
【参考資料】

- ▶ ITインフラ流通事業の「取扱高」について
- ▶ iKAZUCHI（雷）ビジネスモデル
- ▶ 業績推移グラフ

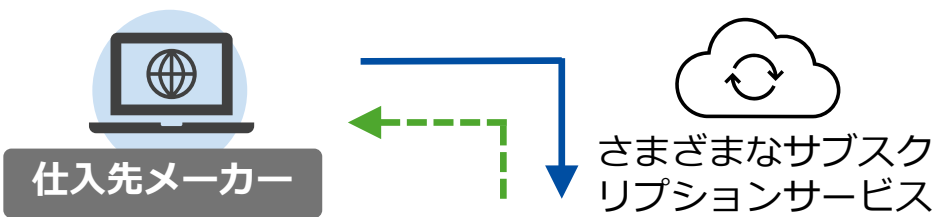
取扱高

Transaction Volume

- 2021年3月期以前の売上高と同じ基準で算出
(= 会計基準変更前の売上高)
- 取引規模を示す上で重要な指標となるため「取扱高」として継続して活用
- 管理会計における営業評価



iKAZUCHI(雷)ビジネスモデル



サブスクリプション管理ポータルサイトを提供して
販売パートナーの契約促進を支援

DIS ダイワボウ情報システム

圧倒的な品揃え 260万アイテムからエンドユーザーの多様なニーズに合わせて販売パートナーに提案・提供	コストパフォーマンス 見積りや配送の効率化、SE向けの先進テクノロジートレーニングの提供など多方面から販売パートナーを支援
サービス&サポート メガ物流センターを完備し在庫管理、PC/タブレットのキitting、設置・保守サービスを提供	販売ツールの提供 二つのWeb受発注システム <i>iDATEN(韋駄天)</i> 商品・サービスパック等 <i>iKAZUCHI(雷)</i> サブスク

全国96拠点

販売パートナー

iKAZUCHI(雷)

一括管理可能なポータル ■ 133ベンダー ■ 252サービス ■ エンドユーザー約9.6万社	エンドユーザーが複数のサービス利用をしても同じ画面で契約状況を一元管理
契約状況をエンドユーザー自身で確認できる	月額・年額・従量課金等様々な支払いサイクルに対応

月額・年額・従量課金



企業



官公庁



教育機関

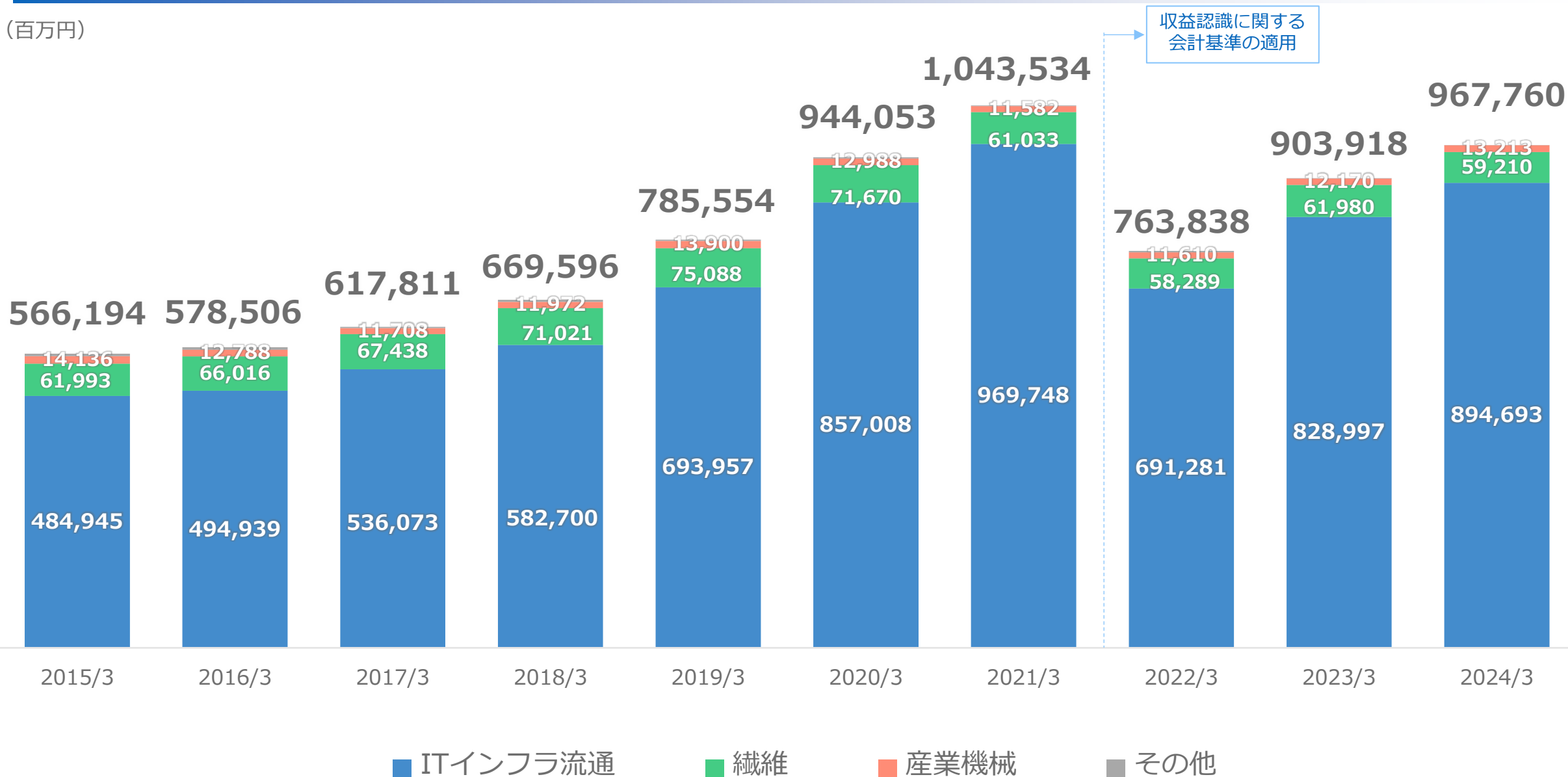


組合・団体等

- 事務機器販売店
- SIer
- 商社
- 通信回線業者など

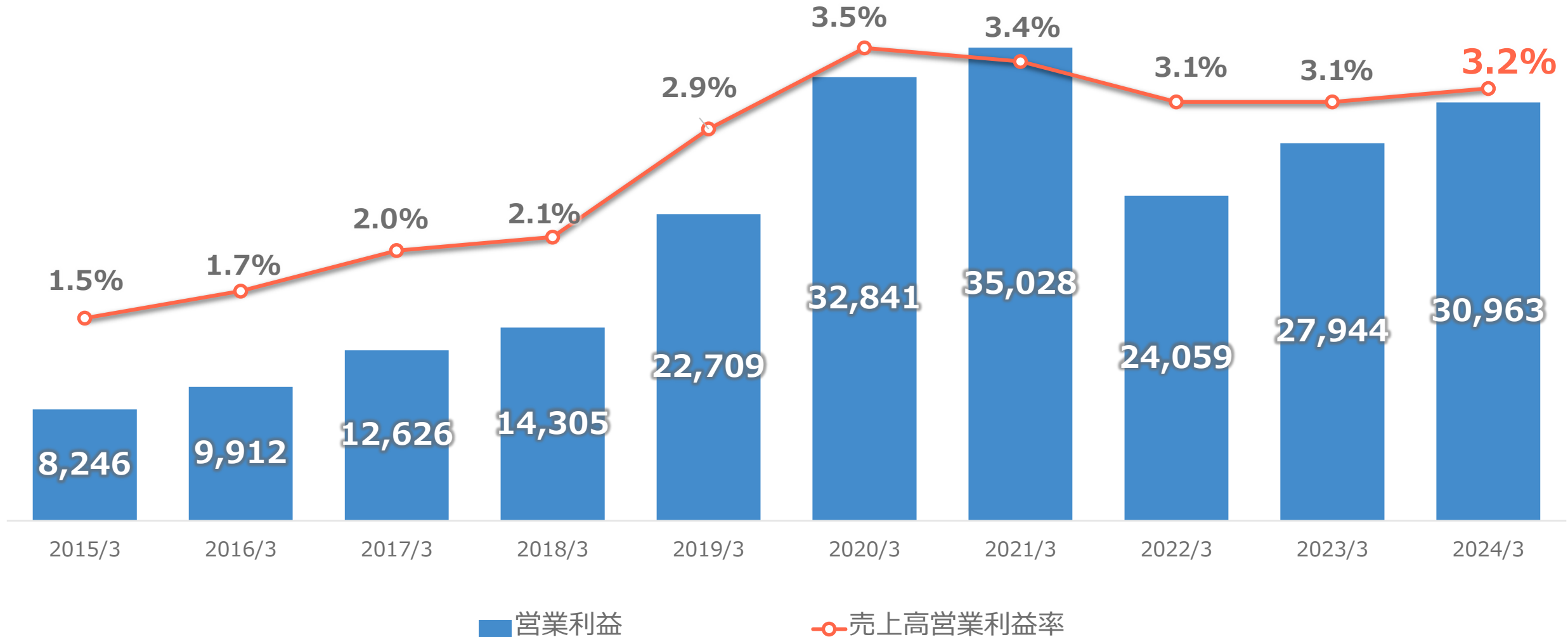
連結売上高

(百万円)



連結営業利益

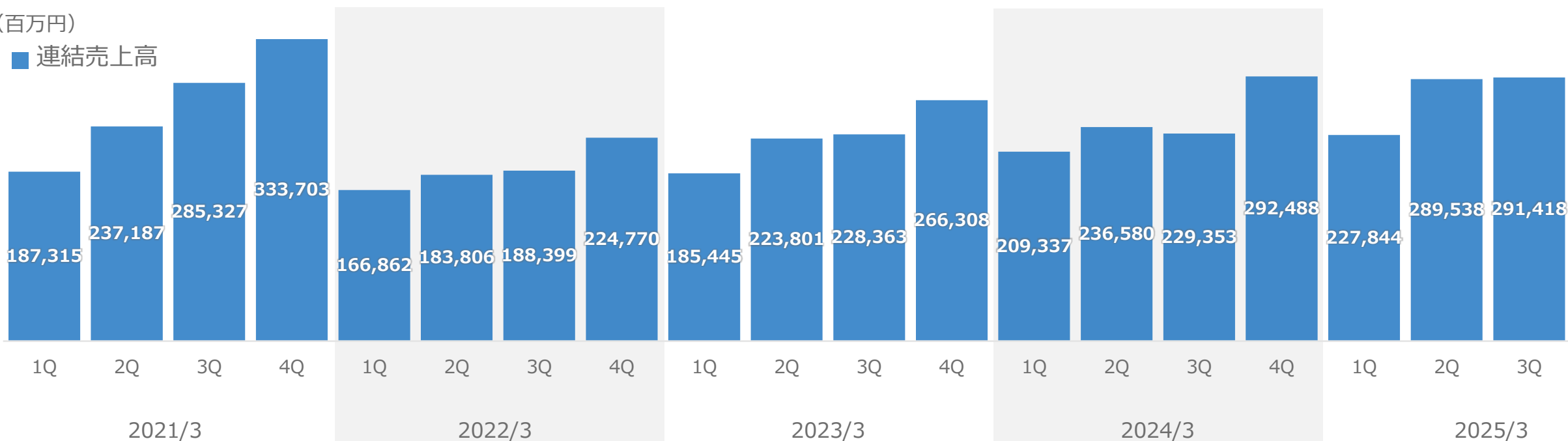
(百万円)



四半期別業績

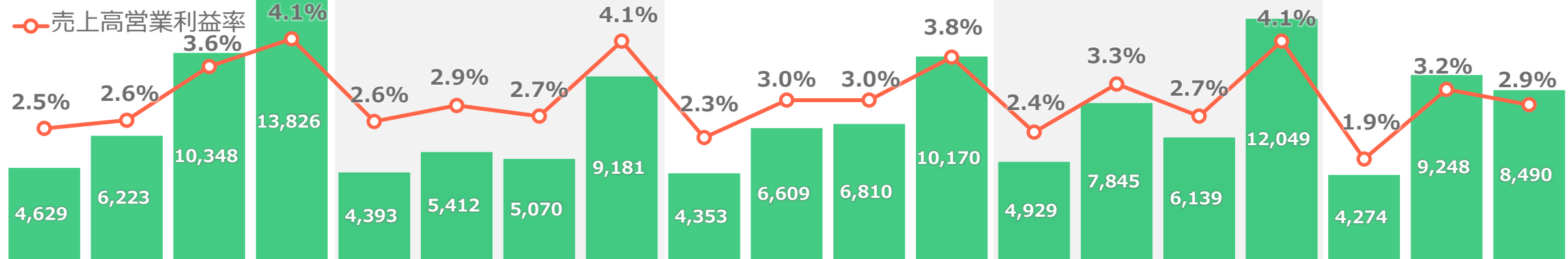
(百万円)

■ 連結売上高



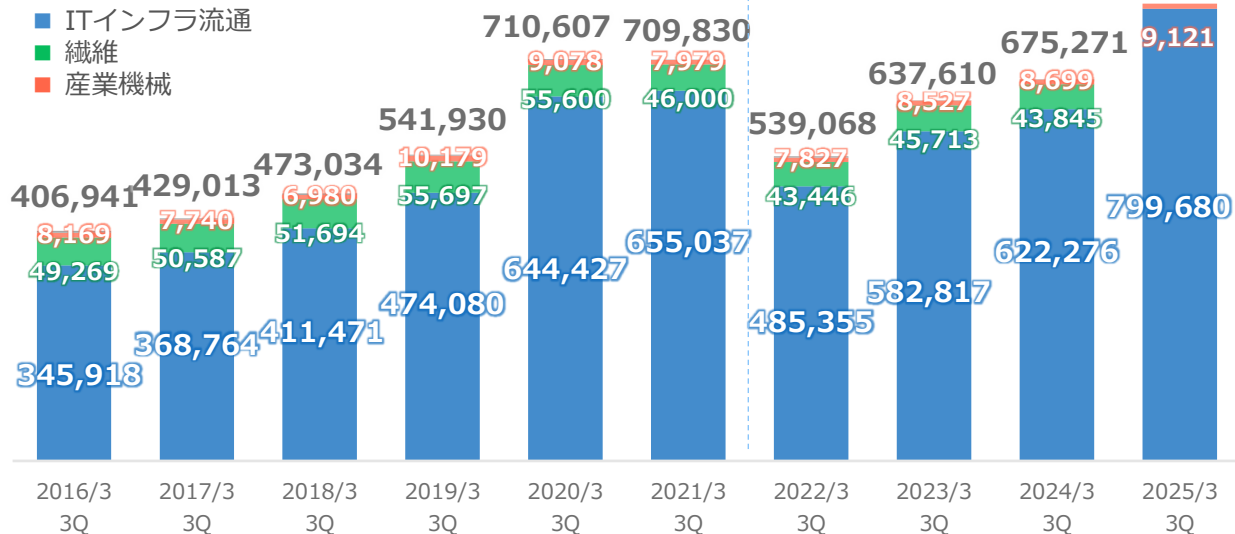
■ 連結営業利益

○ 売上高営業利益率

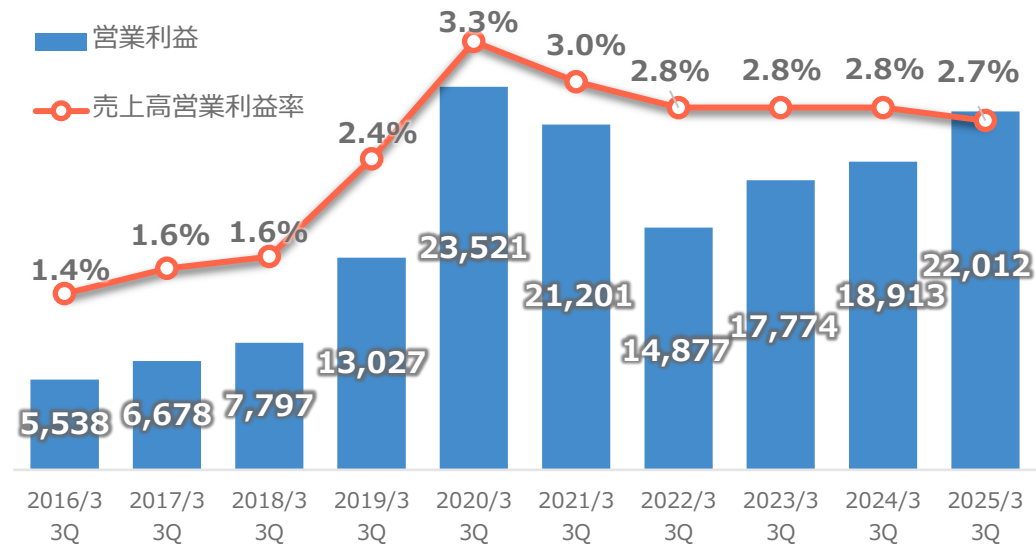


連結売上高・営業利益・経常利益・四半期純利益（3Q累計期間）

連結売上高（百万円）

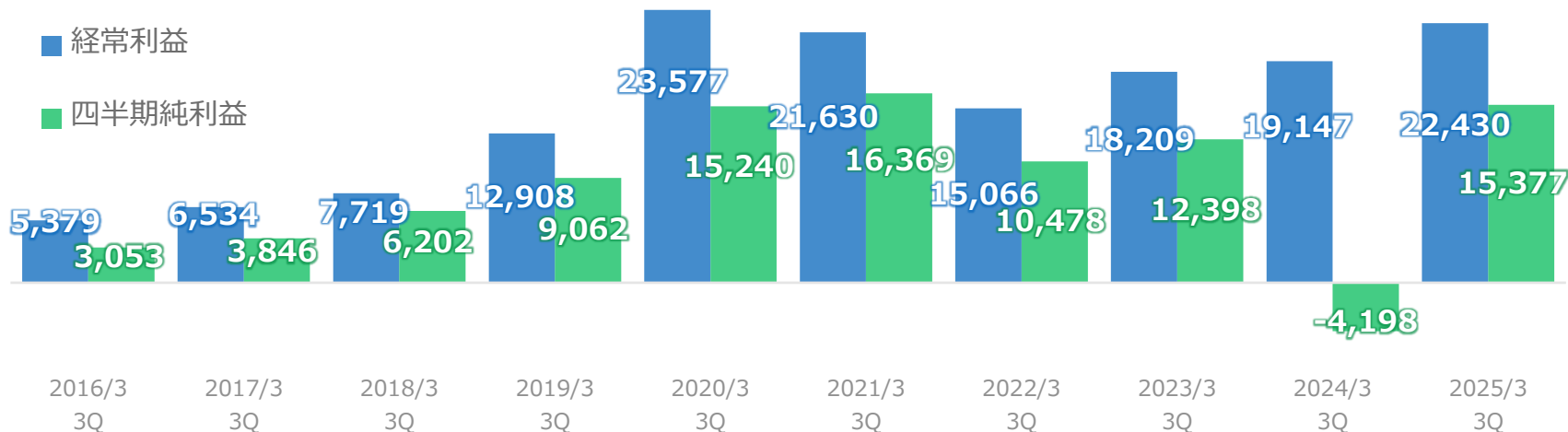


連結営業利益（百万円）



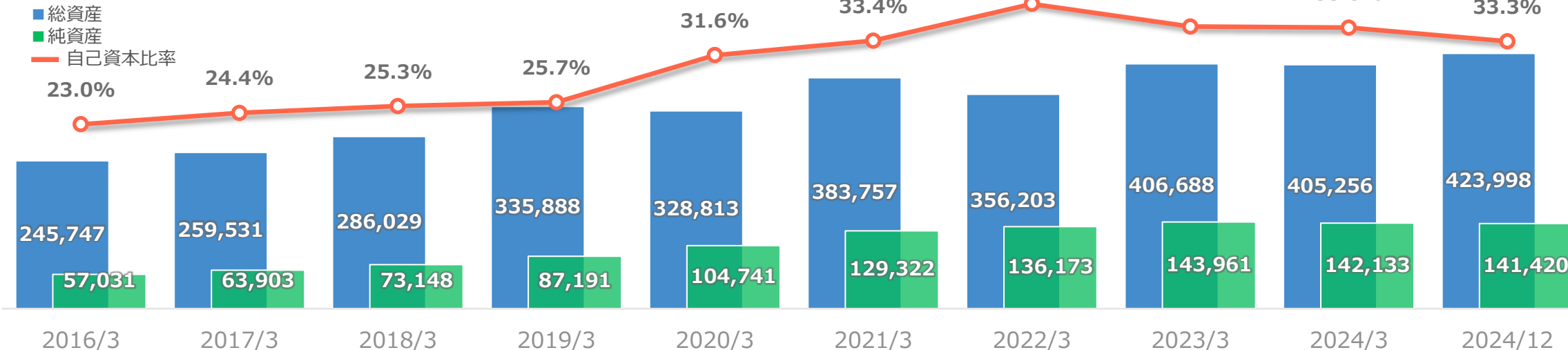
連結経常利益・四半期純利益

（百万円）

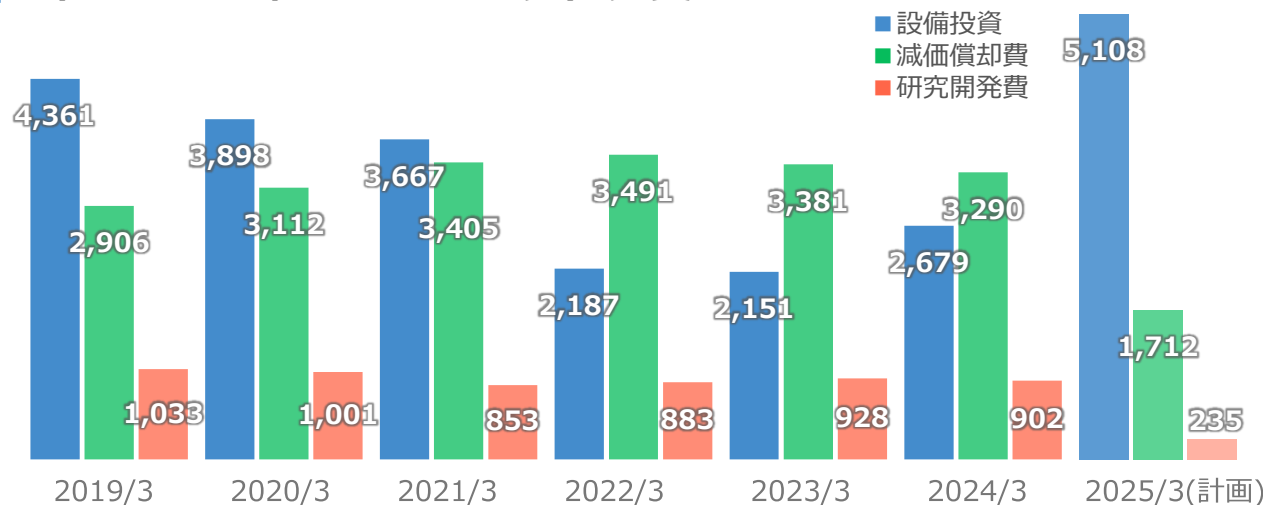


連結業績推移

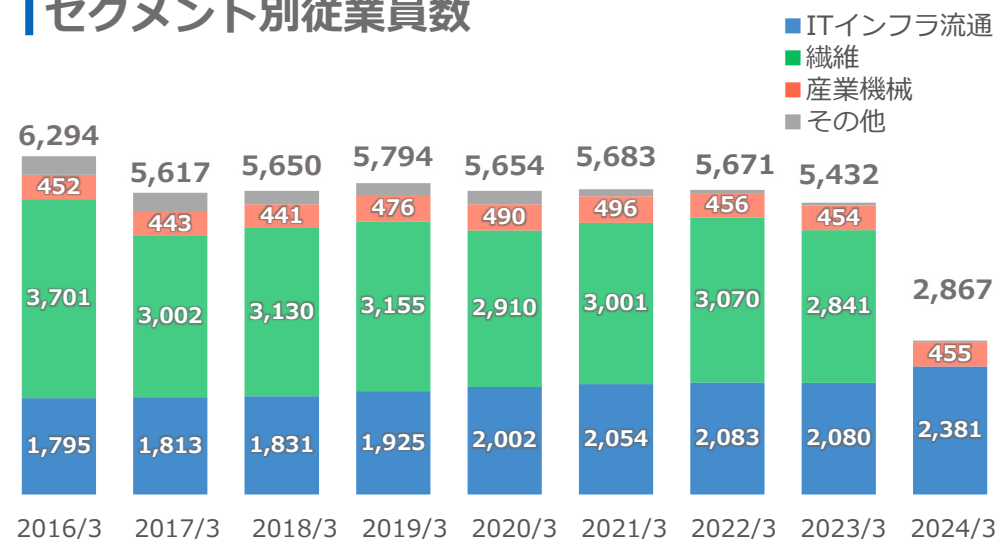
連結総資産・純資産・自己資本比率



設備投資・減価償却額・研究開発費



セグメント別従業員数

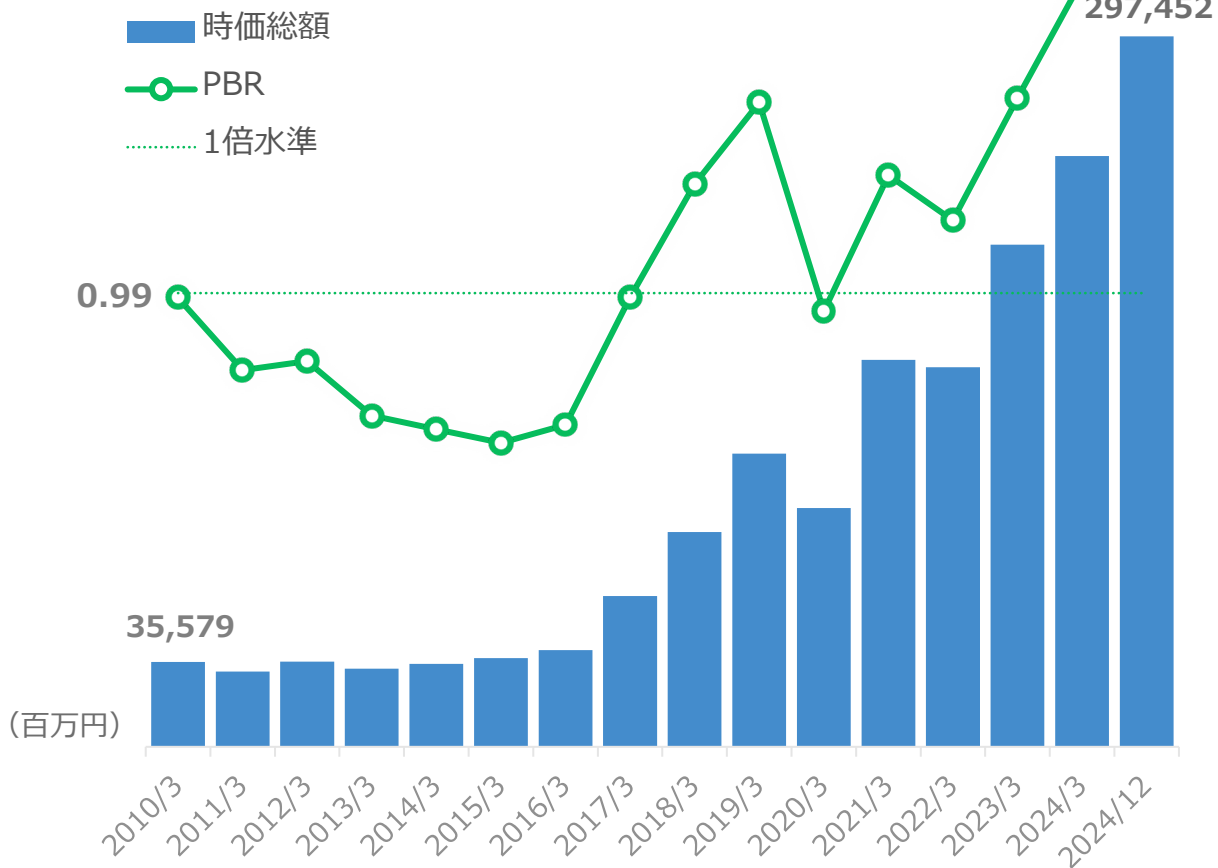


株価推移

PBR 2.00倍

時価総額 297,452百万円

※2024/12終値ベース



相対株価 (月足・終値ベース)

■ ダイワボウHD

■ 日経平均株価



※当社株価は株式併合 (2017/10/1) ・株式分割 (2021/4/1) を過年度に遡及して表示

<https://www.daiwabo-holdings.com/>



ダイワボウホールディングス株式会社

- 本資料に記載された業績予想値等の将来に関する記述は、現在入手可能な情報をもとに、当社が現時点で合理的であると判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により本資料の内容と異なる可能性のあることをご承知おきください。
- 本資料中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。